京城日報

十五日夕刊

紙價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奥山仙三
印刷人 樋口政太郎
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
電話（編輯用 長二四五番 營業用 二六番）振替貯金口座京城三〇〇番

第三十七回帝國議會

◎衆議院

▼豫算總會（十四日續）

豫算總會は午後一時四十分再開小林仲次氏（同志）政府は廢減稅を行ふの意志ありや武富藏相今日の處之を行ふの餘地無しと答へ次いで一二の問答あり淺野陽吉氏議事進行に就き一言し度しとて既に重要なる質問は本會議に於て盡きたりと思惟す故に成る可く豫算の內容に就き審議し度しと提議し

△柏原文太郎氏（國民） 政府は交戰國へ軍需品兵器を賣却したるも我動員には差支無しと云へるが然らば歐洲戰局は何時まで續くと思惟するやと問ひ

△隈政府委員 先回述べたる如く我動員には差支無きも賣却數其他の內容は交戰國の機密に屬するを以て答辯し難しと述べ柏原氏更に追窮したるも政府は之に答へず柏原氏更に歐洲戰爭に鑑み陸軍にては兵器其他に就き調査研究したる事ありやと質し陸相の答辯あるや柏原氏更に海相に對し八八艦隊計畫に變更無しといふも之を八四艦隊に變じ更に其一部計畫を計上したるは何故ぞやと問ひ

△加藤海相 八八艦隊を根據とするも之に達するには幾多の歲月を要す八四艦隊と言ひ其他一部計上と言ふも皆八八艦隊に達する實行方法に過ぎずと答へ尙ほ柏原氏との間に二三の質問答あり

△武藤金吉氏（政友） 靑島占領の際我軍の鹵獲金品家屋の數如何又當時の軍紀紊亂の事實如何と問ひ

△岡陸相 軍紀紊亂の風ありとの事は取調の結果惡意を有する者の中傷なりしを知る又金品は總て國庫に納め家屋は整理したりと辯じ此の時石井外相出席せしかば柏原氏更に安南に於ける在留邦人の待遇は如何なる地位に在りやと新問題を提起し石井外相之れに對して安南通商條約交涉の經過を縷述し柏原氏又々日支親善問題に就き外相を引出し論戰の花を咲かせ次で

△小林勝民氏（同志） 移民政策海軍補助計畫と對米關係大浦氏不起訴問題等を質問し外相法相海相の答辯あり次いで

△藤井善助氏（國民） 對支及び滿蒙研究機關の施設關稅政策等に就き質問し

△武富藏相 日支銀行滿蒙銀行の兩案を作成したれば遠からず議會に提出す出く又關稅政策に對しても近く提案する所ある可しと答辯し藤井氏更に小口保險官營に就き質問し

△箕浦遞相 簡易保險法は目下調査中なれば愈々提出の場合に說明す可しと答へ藤井氏更に染料會社に就き質問し農相の答辯あり終つて片岡委員長本日は此れにて散會し明日を以て質問を終了し度ければ定刻出席せられ度しと希望し午後四時五十五分散會（東京特電）

▲首相應酬大に努む

十四日の衆議院本會議

▼初陣の高田文相

十四日の衆議院は大隈首相始めて本會議に於ける質問に答辯す可きを豫し傍聽席は定刻既に滿員立錐の餘地無し定刻振鈴と共に開會議長は靜岡縣選出代議士大村和吉郎氏死去に付き弔詞を送る可きを諮り劈頭

△元田肇氏（政友） 發言を求め首相は本日當院大臣室に在りと聞く議長より本會に出席を要求せられ度しと希望す此時片岡豫算委員長機轉を利かして之れより豫算委員會を開かんと委員に通告し率先して委員室に赴き他の委員も續いて委員會に赴きたる爲め議場稍々氣抜けの氣味にて質問に入る匹田鋭吉氏（政友）登壇し文部司法兩大臣より發したる訓令を見るに靑年團を悉く軍人の支配下に置かんこするの感あり此の訓示の背後には參謀本部あるべし文相は靑年團を軍人たらしめんとするや又た之れが實行を期し得るやと問ひ降壇するや初陣の

△高田文相 御質問のことは內務行政と關聯するを以て內相と相談の上書面にて御答へすべしと頗る簡單に答へ壇を排して去るや書記官が只今匹田君の質問に對し答辯書來れりと告け朗讀し議場啞然たり

▼首相對元田氏

この時大隈首相は杖によりて出席す元田氏早くも先日保留したる質問を續けたしと發言を求め議長之を議場に諮り異議なく元田氏發言權を得て首相に挑戰して曰く首相は速記錄に依り先日の余の質問を解せられたりと信ず之れに對し簡明なる答辯を望むと述ぶるや

△大隈首相 登壇(一)選擧干涉の事實は金澤市に於て現はれたりされども何れの時に於ても多少の過ちはこれありたり只今回の選擧は從來に比し成績良好也しこ信ず(二)大浦事件に就ては內閣は同一の責を負ひ辭表を捧呈せり然るに陛下には內外の狀勢首相の更迭を許さずこの思召ありたり若し其れ思召あるも人心の離るゝあらば余は固辭すべきも國民の信望未た離散せざるものあるを以て余は留任せり(三)乃木問題に就ては往年伊藤公の時に制定せられたる如く十數年間の慣例にて不思議の問題こ思はず大浦氏の不起訴は起訴せざるも刑事政策の目的は十分達せられたりと認む即ち法相の說は其の當を得たるものと信ずと與黨の拍手に送られ復席するや

△元田氏（政友） 更に追窮せんとして發聲、首相は選擧は公平に行はれたりと發言するも干涉の事實顯然たるものあるを奈何せん留任は恩命の已み難きと國民の輿望とに依り留任したりといふも恩命ありたればこて其の責任を逭れ留任をなすこと果して人臣の分を盡くせるものなりや之れを補弼の責任といひ得べきか又た何をか國民の輿望を荷ふといふやと意氣軒昂野黨の拍手を浴びて降壇するや大隈首相再び登壇し前同樣の答辯を繰返して應酬し次いで

▼首相勵聲疾呼

△松田源治氏（政友） 登壇內閣留任問題大浦氏瀆職事件乃木襲爵問題に關し首相を指差し法相を顧みて咆哮するや與黨は議論なり質問にあらずと防害し野黨之れに應じ議場騷然三たび

△大隈首相 登壇、松田君は大分憲法に精しと揶揄しさりながら只今の責任論は聞き捨てならず抑も元首の權力は如何なるものなるか吾々國務大臣の責任は即ち陛下に對する責任なるを知らざるや我が國の憲法は歐米の其れと其の性質を異にす宜しく帝國憲法を反覆熟讀せば問題は自から氷解すべしと議場を睥睨し大聲疾呼す續いて

△小久保喜七氏（政友） 自席より前日の質問に對する首相の答辯をうながし首相四たび登壇對支警告問題に關して答辯し小久保氏更に登壇、對支警告印度人追放に關し問ふ所ありたるも首相の答辯なくこれにて總理大臣に對する質問を終り日程の質問に入り廣岡宇一郎氏（政友）登壇大浦氏不起訴問題に關する質問をなし尾崎法相の答辯あり

▼佐々木氏懲罰秘密會

池田寅次郎氏（國民）登壇、倫敦宣言加入及び帝政勸告に關する質問を爲し書記官より該質問に對する政府の答辯書を朗讀したるに池田氏、[illegible]に際し樞密院諮詢を經たるや否と問ひ、石井外相、樞府に對する手續は從來ご少しも異らずご答へ次いで

△佐々木安五郎氏（國民） 登壇乃木問題に關し質問を爲し是れにて質問を終り日程に入る福田又一氏（同志）此の際日程を變更し佐々木安五郎氏の懲罰事犯の件を附議せられ度しこ提議し多數にて成立し議長秘密會を宣し傍聽人を退去せしむ時に午後四時四十八分（東京特電）

雜報

◎教科書の普及 明年も自辨奬勵

併合以前より朝鮮の民度に鑑み就學奬勵の必要より官公立普通學校に限り其教科書を生徒數丈け學校に支給し學校より生徒に貸與せしむる制を採り併合後に於ても總督府にては此制に從ひしが大正二年度以降は學校長の見込により自辨差支なきものには購入使用せしめ漸次自辨を奬勵する方針となりたり然れども地方民度の現狀等急激の增加は之を望み難く明年度に於ては未だ其見込數を掲記することを得ざるも將來益々自辨奬勵の步を進むる見込なりと但し從來と雖も私立學校は勿論高等程度諸學校には何れも教科書を自辨せしめ又教科書は從來出來得る限り其價を廉ならしめ普通學校用は大體一册六錢高等程度學校用及び實業學校用は同十三錢となせるは人の知る處の如し

◎水技官會同（第三日）

各道水產技術者會同第三日は前日に引續き午前九時三十分より總督府第二會議室に開催各道水產技術者は勿論總督府よりは關係各部、局長、課長、技師等參列し石塚長官統裁の下に豫定の日程を議了し午後三時散會したり

◎林務主任會同

總督府にては明春二月中旬各道林務主任者並に營林廠林務主任を召集し總督府第二會議室に於て林務主任者會同を開催に決せり會同日數は六日間なるも日程は未だ確ならず、諮問事項は目下山林課にて作成中也と

◎寺內總督歸期

大典參列後直ちに東上目下尙ほ滯在中なる寺內總督は十三日午前參內御暇乞を言上せしは東電既報の如くなるが歸任期に就き聞く處に依れば總督は東上當時十四五日の頃歸任の意嚮なりしもの如かりしも其後總督府には何等の通知なき爲め尙ほ不明なるも愈々本年內に歸任することゝなりとせば遲くとも二十二三日を越えざる可しと

◎京城商議評議員選擧

▲二級當選者

京城商業會議所評議員の選擧は十五日午前九時より會議所樓上に於て擧行す關選擧委員長を始め西村、釘本、韓相龍、金漢奎の各選擧委員列席し直ちに投票を開始し午後一時を以て投票を締切りたるが二級の有權者は五百六十八人にして當日不參の爲め棄權したる者百三十八人あり結局當日の投票總數は四百三十四表なりしが開票の結果十一票の無效投票あり當選者は左の十五名と決定し即日關委員長より當選通知狀を發送したるが志岐信太郎氏と横田湍三郎氏とは同點數なりしも志岐信太郎氏年長者の故を以て同氏當選と確定せり

▼內地人

四十四點 河村千次郎
三十八點 池田長兵衛
三十二點 小谷清
三十一點 篠崎半助
二十九點 首藤定
二十五點 古城龜之助
二十四點 谷口小次郎
二十三點 石野熊一郎
二十二點 鍋島宇吉
二十一點 藤田安之進
十五點 增田三穗
十四點 志岐信太郎
同點 横田湍三郎

▼朝鮮人

十四點 金漢奎
十四點 金璉然
十三點 洪殷柱
次點 十二點 宋居根
同點 宅湍洙

▲一級當選者

二級評議員の投票を終了して午後二時三十分より引續き一級評議員の投票を開始したる結果左の如く當選したり

▼內地人

三點 原田金之祐（朝鮮郵船株式會社）
三點 佐野彦藏
三點 廣江澤次郎
二點 天日常次郎
二點 釘本藤次郎
二點 林茂八郎（大日本麥酒株式會社）
二點 西村道彥（株式會社第一銀行）
二點 岡正矣（京城電氣株式會社）
二點 唐川立造
二點 關繁太郎
二點 林田金次郎
一點 高木德彌
同點 進辰馬
同點 梶原末太郎

▼朝鮮人

二點 韓相龍（株式會社漢城銀行）
二點 白完爀（株式會社漢湖農工銀行）
二點 趙鎭泰（株式會社朝鮮商業銀行）

=二級當選者=

河村千次郎氏

池田長兵衛氏

小谷清氏

篠崎半助氏

首藤定氏

古城龜之助氏

谷口小次郎氏

石野熊一郎氏

鍋島宇吉氏

藤田安之進氏

增田三穗氏

志岐信太郎氏

◎滿洲日支合辨事業

滿洲に於ける日支合辨事業は現在二十餘に達せるが最近大連商業會議所に於て調査歸來せる大連商業會議所議員の報告を聞くに大略左の如し

▲安東縣の材木公司は合辨事業の嚆矢なるが資本金は三百萬圓にて日支兩政府の折半出資に係り、日支條約に基きて成立せるものなるが配當は全く秘密なるも七分位なる可し、同公司職員は日本三十七名支那人三十九名にて各課長の如き日支人の兩方より對抗的に同數を置き凡ての事業手續き皆二重の手數を要し事業の澁滯は勿論無用の經費多し日支人職員間の勢力爭ひは國旗の揭揚法に迄及べり

▲本溪湖の煤鐵公司は大倉組と支那資本家の合同出資に係り民國商法の規定の下に成立す、資本金は七百萬圓なれど支那側の資金不足の爲め二百萬圓は未拂込なり、七百萬圓のうち採炭に三百萬圓製鐵に四百萬圓の計畫なるが利益配當は十年後なる可し、職員は日本人百人支那人三十名許りにて支那側は日本人を信用する爲め事業の運轉良好なる模樣なり

▲奉天の滿陽馬車鐵道會社も大倉組と支那人の合辨にて配當は一割一分合辨事業中利廻り最も多し

▲長春の日清燐寸合資會社は三十萬圓の合辨事業にて一割の配當をなしつゝあり

▲鐵嶺に於ける電燈局は滿鐵會社と支那實業家の出資にて十一萬圓の資本なれど電氣機械は既に七萬圓を費やしたれば正金銀行の特貸及び滿鐵の融通にて十九萬圓に增資せり該事業も數年後ならでは利潤を見るに至らず（未完）

◎白菜輸入激增

支那山東省の特產物にして在鮮內地人にも賞美されつゝある白菜は從來每年十一月中旬頃より支那戎克により輸入されつゝある事も汽船等にて大口の輸入を見たる事なかりしに商機を見るに敏なる在仁川支那商人は本年より汽船便にて五千斤位宛の輸入を爲し盛に京城方面に移出しつゝあり本月中旬迄に輸入したる數量は約一萬斤に達し居れりと云ふ從つて戎克に依る輸入は絕無となれりと

◎總務課忘年會

總督府總務課にては二十五日午後六時より淸華亭に於て忘年會を開く筈なるが出席者は荻田課長以下六十名、小松總務局長代理も出席す可し

◎會計課忘年會

總督府會計課員一同は十四日午後六時より倭城臺倶樂部に忘年會を開きたるが郡山課長以下九十餘名出席午後十一時散會したり

人事消息

▲小林源藏氏（陸軍大佐）大禮式參列の爲め東上中の處十五日歸任
▲東島明氏（土木局道路工事技師）道路工事檢査の爲め十四日出張
▲宮永氏（專賣課出張所技師）事務打合の爲め十五日出京

南言北語

四箇國を手玉に取つて日本を孤立的位置に陷れんとしつゝ巧みに機會を自造して見ん事大芝居を打ち當てた袁氏の得意は思ふべしである▲今頃はお妾のお酌で列强の外交乃公を如何せん乃公を左右するものは唯爾あるのみなんかと脂下つて居る事だらう▲御用紙などが目出度々々の若松樣よと謡ひ出す言百出の中に某老儒の如きは慨慨して昔時は馬を指して鹿と云ひしものもあるが今の支那は共和國から一轉して禽獸國に墮落した之れでは支那の前途も絕望だと浩嘆して居る▲而し今日の支那で周の粟を食まずと伯叔を氣取つた處で野暮の骨頂だからマア非難の聲も憤慨の聲も一時的と見て居れば好いのだ▲其の樣な事はチヤンとお先に袁陛下は御存じてあらせらるゝからメリケン粉を甜た程にも感せぬ▲元來御大がエン君だから禽獸國だとて敢て驚く程の事はない念の入つた惡洒落位のものだ▲元來支那は不圖した機會から共和國が出來上つたものだから袁世凱氏の死後の支那は第二の[illegible]國を現出すべしと觀測する人もあるげな▲イヤ縱恣が惡いと立腹しては困る之れは帝政の權兵衞役に當るグットノー博士の話しだからね▲而し熟々支那の現狀を拜見すると滿洲や、南支那や其他に東洋のヴィラ組がゴロ〳〵して居るから斯うも見えぬ事はないよ、すると袁君は矢張り豪い▲其れから來年の一月元旦にやると云ふ袁氏登極の大典擧行經費と云ふのが鳥渡六百萬元を要する相な▲其處で先づ三百萬元は政府で出して殘り三百萬元也は各省から獻金する事になつた▲其の振り當ては直隸、山東、其他四省で二十萬元河南、安徽其他四省で十五萬元奉天其他三省で十萬元吉林、黑龍其他四省で八萬元京兆、熱河其他二特別行政區で六萬元だと云ふ▲此奴は皇帝推戴の樣にお手輕には行くまいチト[illegible]蛇の觀がある▲第一救國儲金なんて大分煽動して絞り上げた金などもヒユードロの幽的になつて居るからナア

山雨臻らんとす（十五日午前九時の京城商業會議所）

●やれ／＼と惠美壽顏

候補者諸君の顏の筋の緩み加減　前夜の闇劇＝一級の動搖

事既に決す＝當籤の上の燕の様でフロックコートの連中大名

▲一波瀾

四温に入つて第一日目、兩三日來の寒氣頓みに衰へ俄かに暖かくなつた十五日の朝の九時から物々しく騷ぎつゝあつた京城商業會議所の議員選擧は同所の樓上で擧行せられた、二級の候補者は定員十二名の所へ候補者が十二名と云ふ至極穩やかな前景氣で從つてその運動も最高點を爭ふと云ふ

■樂觀的のもので あつたが十四日の夜になつて雨も風も吹いて居なかつた一級の方に岡西、村志岐の三氏が突然立候補を名乘つて出たので茲に動搖を生じ志岐氏の如きは一級から當選を見ること或は難かしからんと見てとり二級にも顏を陥けたので、平穩らしかつた二級の方も選擧の當日十五日の朝は多少の動搖を見たらしい、朝鮮の冬の朝の九時と云へば夜の明けて未だ間のない頃だが其前から出頭に及んだ候補者は誰あらう這度の選擧運動に凄じい武者振を見せた河村千次郎君だつた九時と同時に樓上の投票場が開かれた際貴重なる一票を先頭第一に投じたのも同君だつた

■會場前の光景は 前の民團議員や學校組合議員の時の如うに騷々しいものではなかつたが其れでも從來の會議所議員選擧の時の如うな寂びしいものでもなく、內地人十二名鮮人十一名の候補者は或はフロック、或は紋付、背廣、縞の羽織に周衣の人もあり、十時頃からは一同會議所の玄關の兩側にズラリと陣取つて立ち並び有權者の來る毎に秋波を送つたり『賴みますよ』と何時になく鄭重な御挨拶振り併し這が誰れを見ても至極穩かで酒の氣の有りさうな人は唯の一人もなく、俥を飛ばして東奔西馳する運動者も尠なかつた其中で

■目立つて見えた のは靑木堂の前土居代書店の店頭に出來た河村候補の事務所で、こゝのみは朝から數名の運動員が走り廻つて居た、候補者の中でも龍山の藤田氏は龍山の有權者の來方が遲いので十一時頃には心配の色も見えたか元町榮町の一團が隊をなして入場するのを見てヤレ安心と云ふ顏、最高點と見做された古城君は親船に乘つた氣持で會議所の事務所に控かへて自分に投票する有權者の顏を勘定して一々帳面に記して居たのは場所柄天下泰平の兆を發揮したものであつた略見當の付いた正午頃には多くの候補者は安心の態で會議所事務所の暖爐を取り卷いてそろ／＼運動の手柄話しやら失敗談『明治町有權者の

■頑强なる結束に は手の著け樣がなかつた』と誰れの口からも出る午後一時締切つた時の投票は四百二十八票で候補者が約一時間の開票時間を待ち兼ねて池田氏を座長に推して豫選會を開いたのも時に取つての御愛嬌であつた（午後二時記）

▲先づは安心

大混戰を傳へられた二級選擧が斯日前になると割合に平凡なるべしと云ふものもあり果して何れを信じて可しとも思はれぬ程になつて來た然るに突然志岐信太郎君が十四日の夜中から一二級の二股掛けて午前の

■二級で破れたら 午後一級から出ようと云ふことになり名乘りを上げた、左なきだに何んとなく不安の念に驅られて居た二級の候補者は素破こそ大敵現はれたりと根據の如何はしい候補者は大狼狽に狼狽し出した、遂に開票の結果は見事に後走せの志岐君が中原の鹿を射止め、同點者の廣田龍三郎君は御年の若いために思はぬ不覺を取つた、其志岐君は東上中で當選したのだが一級の原田君と共に御留守中の御手柄御目出度い次第だ兎にも角にも二級戰は其割合に

■大人氣で當落が 決し午後二時半の一級選擧が始まる前に早くも二級當選者の姓名が門前の揭示板に貼付られた、愈會議所の時計が午後二時半の所を指すと一級の投票が始まり先づ第一著に投票用紙を貰つたのが韓一銀行の白潤洙君次で足立瀧三郎君、二級の有權者が六百何十名かあるに引替へ一級は內地人十四人朝鮮人四人と云ふ極少數從つて二級の樣に門前市を爲す程の混雜は見ぬが這に上級評議員？の選擧有權者だけあつて車の數だけは多かつた、候補者數は最初內地人は十二名の定數一杯々々で朝鮮人側が

■多少混戰狀態だ と思はれて居たが十四日の夜から西村道彥、岡正矣の二君が出現するとなり一級こそ平穩無事と取極めて居たゞけ一方ならぬ混亂を來した何しろ御年を召した候補者は只だの一票でも當選すると安心して居たのだから御心中御察し申す外はない間際迄知らぬ顏の半兵衞さんを極め込んで居た岡正矣君は朝の九時頃から選擧場へ乘り込んで形勢を觀望して居る、今一人の新顏の西村道彥君は會議所の創立委員の一名然かも釘本、韓、金の諸君と共に選擧委員として

■投票函の向に控 へて居たが御自分の賴んだ有權者の投ずる所謂貴重なる一票には涙がこぼれたかどうだか騷がしい二級の選擧が濟だ後の事務所は丁度大水の引いた後の樣だがそれでも一級候補者の御連中が十人許り列んで居る所は電信線に止つた燕の樣だ二時半から始まつても却々有權者は重く構へて投票をしに來ないもんだから候補者も氣が氣でなく『モシ／＼東亞煙草ですか私は高木ですがねもう時間ですから加藤さんにお早く願ます』と云つた樣な引出し電話が彼方にも此方にも掛けられるかれこれする間に

■二時の時計が鳴 ると十八人中東亞の加藤君を剩すのみとなつたがそれも間もなく到著して『ヤー遲くなつて失敬々々』と二階の投票場に行くと高木君の顏にはヤレ／＼安心と云つた樣な色が見える三時二十分を最後として東亞の加藤君の投票が濟んでからは候補者一同ストーブの周圍に寄り集まつて當落の下馬評に花が咲く少し自信のない候補者なんかは『エー到底駄目なんだから』と云ひつゝも萬々一を期待して居るのは人の情だらう四時の締切時間を合圖にサアー開票ぢやとざや／＼二階に

■投票の整理を終 つて間もなく大村書記長が最初の一票を取出して二名連記の投票記名者を何々君一點と讀揚げる、その一聲毎に緊張した候補者の顏が綻んですつかりお芽出度い表情になる（午後四時記）

貴重なる一票を投ず
十五日正午京城商業會議所評議員二級選擧

●聯隊長殿に敬禮！

龍山驛頭づらり並んだ新兵さん

運送指揮官小村步兵大尉及び各大隊附將校五名に引率せられた第九師團步兵第三十五聯隊及び同野砲兵第九聯隊の一箇中隊

▲全員八百五十一名 を乘せた臨時列車が龍山驛に著いたのは豫定の十五日午前十一時四十五分から十分遲れた正午前五分と云ふ時であつたプラットフォームには聯隊長大立目大佐、師團參謀長岡本大佐其他師團聯隊の將校數十名及び新兵の身內か姻戚らしい男女老幼數十名が著車前から出迎へてる停車はしたがまだ降車は許されてないので自由押しに押詰められた各列車の總ての窓からは初めて入隊の地の景物を見逃すまいとする物珍らしげの顏が入り代り立ち代り隙見してる騷ても一聲抑揚もない

▲長律の喇叭の音が するると共に列車內の人員がざわめき出して驛の中間プラットフォームに降り立ち整列した樣順次ブリッヂを渡り驛前の廣場に兩面して横隊する初年兵と云へばまだ此間軍隊生活に入つた許りだらうに仲々よく整然として見える小村運送指揮官は『前面の聯隊長は汝等の聯隊長大立目大佐殿である』と大立目聯隊長を全員に紹介し『聯隊長に敬禮』と大聲疾呼號令する銃の無い新兵は

▲一齊に擧手の禮を し大立目大佐も答禮する其れが濟むと小村指揮官から逐次前進の號令が出て各小隊長の發聲で聯隊本部へ向ふ『モット足を高く』小隊長にさう言はれて急に歩調を强く高くする處なども新兵らしい十六日午前十時には隊で入隊式があり聯隊長からの訓示があり彼等の朝鮮生活の第一日が初められたのだ龍山驛には將校六名、下士卒八百五十一名、馬六頭、荷物六十七箇と云ふ傳票が來てる

●御題詠進締切は大晦日

詠進者に注意

明春宮中御歌會始めに『寄國祝』と御題仰せ出されしが其締切日に至つては明治天皇の御代御末年『寒月照梅花』『松上鶴』に至るまで例年十一月十日限り獻詠の御規定なりしかば猶同じ締切日とのみ思ひ居るもの鮮なからざれど本年は十二月卅一日の締切なれば折角の美事なる歌も期限遲れにて選歌に洩れることゝあらば返す返すも惜しき事故三十一日締切を忘れぬ樣各自に注意せらるべし而して此の十二月三十一日締切と云ふことは今上天皇に至り大正三年の宮中御歌會始めの御題『社頭杉』より定め給ひし新しき御定めにて大正四年には諒闇中にて御歌會御事止みとなり既に十二月三十一日締切は歌人の頭より忘れられ居ることとなり今なほ宮內省御歌所員の話に依れば今回も既に詠進者二萬人に及び居るも如何せん誤式のものが多く甚だ不都合であるとのことなるが書式は美濃の堅詠草にして全紙を二つに折りそれをまた五つに折て第一の折目に名前（名前の下に小さく上を記すこと）次に御題の『國寄祝』次に歌の上の句次に下の句それから其の次は空にして裏にかへし二つ目に現住所三つ目に族籍四つ目に姓名（位階勳等を有する者は姓名の上に記入する事）を認む可く屆先は『宮內省御歌所御中』にてよしと

●密行中の巡査部長

賊と格鬪 して遂に負傷す

仁川署の村田巡查部長が十四日午前三時十五分頃仁川府栗木里火葬場下道路を私服にて密行中花町方面より泥捧々々と連呼する聲を耳にしたるより同方面に急行中疾走し來る

▲怪しき鮮人に 出會したれば呼止たるに俄に牛角里方面に逃走せんとしたるより直に追跡して引捕へんとしたるに賊は激しく抵抗を始め格鬪中襲に花町方面より追跡し來れる高谷巡查補が來合せ協力して捕縛したるが此賊は花町道路に於て擔軍に大工道具二箱を背負はせ通行中折柄警邏中の前記高谷巡査が不審な奴と認め取調べんとしたるに大工道具を拋棄して一目散に逃げ出したるより追跡したるものと判明したれば高谷巡査は證據品取纒めの爲め花町に引返し村田部長は賊の身柄を

▲本署に引致中 外里道路に於て再び激しく抵抗を始め格鬪中捕繩に綴みを生じたるより益々勢を得死者狂ひとなり部長の左手食指に噛付き咬切らん勢にて容易に放さゞるより柔道の心得ある部長は屈せず右手にて賊の咽喉部を强か絞め上げたれば指は放したるも猶も必死となりて逃走を企つるにぞ部長は引廻と羽織を脫ぎ棄て格鬪しつゝ追跡し杻峴驛附近の空地に至りたる時は流石の强賊も力盡きて身體の自由を失ひ人事不省に陷り確實に逮捕し得たるが同時に部長も今迄張り詰めたる氣が拔け指の

▲咬傷に激痛を 覺え身體綿の如く疲れ一歩も進み得ずなりしを以て附近の土木請負業片山佐吉をして龍岡町派出所に急報せしめ大庭巡査を呼び荷車にて賊を本署に引致し應急手當を加へ取調べしに此賊は仁川府外里酒幕李某方止宿金善京（三）と云ひ當夜土木局出張所其他數箇所に於て竊盜を働きたる旨申立てたるも猶他に重罪犯ある見込みにて目下嚴重取調中因に職務の爲め負傷を受けたる村田部長は仁川病院に於て治療を受けつゝあるが經過良好にして十日位にて全治すべしと

新築落成移轉
京城黃金町二丁目一八五
辯護士　岡田榮
電話三九八番

年末の贈答品には
實用向きの
本場　ちゝぶ銘仙
珍柄豐富
京城本町二丁目　ちゝぶや
電話八九〇番

●旅順名物鰡釣

旅順名物鰡釣りの季に入りたるを以て出漁者夥しく獲物多し（大連特電）

高尚で＝奇拔な　贈答品は＝北內に
「現代的趣味ある」
■それは組合せ文房具＝書翰箋の箱入でございますが其中に時節柄必要で便利な無料名刺印刷券を添へてあります
■受けられた方は何より重寶な家庭向學校用品として喜ばれ贈られた方も氣心地が好いものであります
■名刺は年始に必要なものそれが無料で印刷が出來る之れが現代的北內式であります何卒御買上の榮を賜はり度候
帳簿製造　活版印刷
京城本町一丁目　北內紙文房具商店
電話一五三番　振替京城一五九番

モスリン値上廣告
無地大巾尺　貳拾錢
右は歐洲戰亂の爲め生地並に染料暴騰に付止不得自今右之通り値上致候
十二月十五日
京城吳服商組合

特價提供
メリヤスシヤツ
○一號　金六十五錢
○二號　金九十錢
○三號　金一圓廿錢
以上＝各種
京城本町　龜屋商店
電話二七番四七五番

サクラ正宗
比較は最良の選擇法なり
サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番　振替京城五七番

十二月十五日より廿四日まで
歲暮大賣出し
一歲暮御贈答品各種
一支那緞子　壹尺に付　金七十五錢均一
一浦鹽更紗　壹尺に付　金十錢均一
一露西亞菓子
其他例により弊店見切品澤山
仁川支那町　義生盛號
電話八一八番

株式會社第一銀行京城支店
資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百廿五萬圓
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取　男爵澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

死んだつもりになる

居住佐々木振一（ヨた）の兩名は共謀し…保險金を詐取せんと…て里見判事橫川檢事立會ひ高田書記…し者二百四十二名あり學術試驗の結果…品の販賣事に忙殺されつゝあり因に…夊（此價五百四十四圓九十錢）を五回…

晴れ後曇り　十二月十六日

◉奉天情信

支那新君主の大權
日支新約前後條例

▲中華新帝大權 君主政體解決後新皇帝登極の際は憲法制定まで一種約法を宣布し國民の信を繋ぐに決し支那政府は國務會議に於て之が立案中なり今其の君主の大權に關する分を洩聞するに下の如し

一、大皇帝は中華帝國を統治し萬世一系永々尊藏す
二、君上は神聖にして尊嚴冒すべからず
三、君上は法律を欽定頒行し及び議案を發行するの權あり凡そ法律議院の議決を經ると雖も詔合批准を奉せざれば頒布するも無效なり
四、君上は議會を召集、開會、閉會及び解散するの權あり
五、君上は官制綠及び百司を黜陟する用人行政の權を操る內閣大臣、司職輔弼議院は干涉するを得ず
六、君上は全國軍隊調遣、常備兵額制定の權あり並に一切軍事の要政は省議院干與するを得ず
七、君上は國交の事宜戰媾和、條約訂立及び使臣遣派の權あり均しく親裁し議院の議決に付せず
八、君上は緊急の時戒嚴を宣告並に臣民の自由を制限するの權あり
九、君上は爵賞及び恩赦の權あり
十、君上は命令を發布し及び發布せしむるの權あり已定の法律は議會の協贊を得ずんば欽定の時命令を以て變更するを得ず

▲日支新約前後 北京政府は駐日公使陸宗輿氏の歸朝するを俟ち日支新約實施に附隨する前後條例を協議し日置公使と交涉公布すべしといへるが成案の條例目は左の五項なりと

一、混合裁判制度
二、雜居選擧條例
三、雜居の戶籍調査法
四、雜居の納税條例
五、雜居の各禁令

◉出稼鮮人歸來

四千百人の稼高三十九萬圓

本年一月以來十一月迄露領浦鹽方面出稼鮮人の淸津港歸來上陸者は四千百九十三人其の總所持金三十九萬一千二百四十九圓にして之を職業別に見れば勞働者最も多く二千四百十四人農業一千五百三十人商業百六十一人鑛夫七十五人漁業十三人等なりとす而して同期間に於ける鮮人に淸津警察署にて旅券を下附せしは一千六百八十五人にして其の目的は出稼六百三十四人鰊買入五百九十八人親戚訪問百八十九人商業百十二人金錢取引八十七人其他七十三人にして渡航者と歸還者を比較すれば歸還者は二千五百八人を超過するが本年斯く出稼鮮人の歸還者多きは歐洲戰亂の爲め露領一帶不景氣なると永住鮮人は補充兵として徵集西露に送らるゝを忌避するに源因するもの﹅如し

◉米穀檢査好況

南浦に於ける前月の成績 米穀檢査開始以來十一月中に於ける鎭南浦港の移出玄米檢査高を聞くに其の總數二萬六千四百五十叺にして之れを大正三年の一萬四千二百叺二年の二萬五千八百叺に比すれば少からざる增加を示し居れるが然も地方生産者は新規定による檢査の嚴正と不合格を懸念する餘り本年十一月も初めの間は籾の出廻り玄米に勝りたりと云ふ而して各地を通じ米穀檢査勵行の趣旨並に調製改良の必要汎ねく當局に依り唱導され結果農民の注意周到を極めつゝあること本年の米質良好なる爲め其の檢査不合格米の如き極めて僅少にて良好の成績を擧げつゝある由(鎭南浦通信)

◉陸地棉販賣況

慶北道に於ける陸地棉現在作付反別は八百十一町歩餘にて大正六年度は九千九百町歩に增耕せしむる方針なるが十一月末日慶尙北道廳調査によれば實棉收穫見込高六一萬四千八百五十五斤實棉販賣高五萬六千百九斤繰綿販賣高三千五百三十八斤にして將來販賣見込高實棉三萬四千三百斤繰綿一萬一千二百五十斤にして耕作各地共成績良好にして著々豫定計畫に向つて進みつゝあり

◉迎日鰊漁豫想

慶北迎日灣浦項附近に於ける近年の鰊漁は概して不漁續きなりしが本年は八月頃の豪雨の爲め甚大の泥沙を灣內に流入し今なほ夥しく海底に沈みをる爲め今冬鰊漁期に一朝時化あらば海上の泥濁甚しかる可きを以て豐漁ならんと漁業家は今より大に力を得是か準備に着手しつゝあるが是を既往の實際に徵するも例年大雨のありしときは必ず大漁なりし

◉黃海道米優良

日の出種の普及

本年南浦廻米頻繁にして且つ移出旺盛なる事は屢報の如きが南浦の移出米は約九割方黃海道産にて其の一小部分が籾の儘廻著し南浦に於て調製せられ居れるも大部分は原産地にて調製の上廻著されつゝあるが米質優良殊に本年は改良米種日の出約四割方に上り黃海道當局が如何に米種改良米穀調製に努力しつゝあるかを知るに足るものあり南浦米の聲價爲めに大に揚るべしと云ふ(鎭南浦通信)

◉先月淸津出入船舶

本年一月より十一月末迄淸津港出入船舶は六百四十三隻にして之が出入旅客は入二萬千九百五十九人出一萬三千四人計三萬四千九百六十三人にして入は出より八千九百五十五人を超過せり而して之が各國別を見れば內地人入七千四百五人出四千五百五十二人朝鮮人入一萬三千二百四十九人出四千五百五十二人支那人入一千二百六十七人出五百四人外國人入三十八人出二十八人にして內地人二千八百五十三人朝鮮人五千三百二十九人支那人七百六十三人外國人十人を入は出より各超過し居れるが斯く入來者の多きは淸津奧地に於ける鐵道工事其他羅南師團增設等を見越し入込めるもの﹅如し

◉國境對露支貿易

豆滿江下流土里に於ける十一月中の對露支貿易狀況を見るに輸出は一萬三千二百九十三圓にして前年同期に比し四千九百四十圓を增加す之が原因は輸出牛の增加にあり輸出品の重なるは生牛にして五百六十頭一萬三千二百八十四圓其他少量の生シーチング綿布ありたるのみ生牛は全部龍岷市場に於て取引されたるものにして對岸露領煙秋に仕向けられ其他は對岸露領鮮人の需要に供せらる輸入は三千五百一圓にして前年の同期に比し三千三百八十五圓の增加なりとす之れ本月は木材並に牛皮の輸入並に露領出稼鮮人の歸途穀類雜貨等を購入し來り輸入したる結果にして其重要品目を擧ぐれば粟、稗、大豆、玉蜀黍は合計二萬一千九百二十五斤八百六圓牛皮四千八百八十二斤九百八十圓木材七萬一千七百四十四才一千四百五圓其他藁蓆、浦鹽雜貨等にして穀類牛皮は露領より輸入し木材は支那間島産なりとす尙ほ冬季に入りしより本月初旬に於て豆滿江流域の水運は全く杜絶し中旬に於ては兩岸結氷して一時は對岸との交通杜絶せしも月末に於ては結氷堅く馬牛車の交通自在なるに至れる

◉全南道より

光州郡地主會は優良米種普及の爲め十日午後光山館に於て總會を擧行大正四年度に於ける優良米種普及步合三割五步を增進して大正五年度五割一分六年度七割七年度九割となさしめ更に本年よりは銀糯米の豫備栽培を爲すことなりたり▲棉花出盛 本道の陸地棉共同販賣高は十一月末日までにて約一千二百萬斤に達したるが羅州郡に於ける繰棉のみにても南平德珍工場四十四萬八千斤榮山浦張亨元十七萬六千斤同繰棉組合四十九萬一千斤、達し悉く今年度の買收豫定額を超過するに至れりと▲全南米の聲價 全南米を最高とし馬山釜山仁川木浦鎭南浦の順位にありしが本道が米穀檢査施行後に於ては馬山群山木浦仁川釜山鎭南浦の順序と變じ木浦米は仁川釜山米を凌駕して取引直段其の上位するに至れり而して降後にあつても官民協力以て群山馬山米の域に達せんと期圖しつゝあり▲莞島海苔良好 莞島郡助藥島の東京式海苔[illegible]傳習は昨年度を以つて一段落とし傳習修得生は今年度より道地方費五百圓の補助を得て組合を組織したるが本年は原料の生育も佳良にしてシビ立も增加し居れば前年より多收量を得品質も良好なるべしと●地方委員會終る 本道廳に開催の濟州島土地な方委員會は困難なる問題をも惹起せず圓滿なる解決を告げ會期二日を以つて無事に終了したり

◉北鮮より

▲咸北國境地方は露領と接壤の地なるを以て彼我の交通頻繁にして且つ露領出稼人の攜帶等に依りて露貨の流入するもの尠からず其の流通步合も過半を占むる有樣なるが露貨は昨年以來下落を重ね去る十一月上旬に於て露貨一留に對し六十五錢乃至七十錢なりしも同中旬に至り更に五十五錢又は五十錢に暴落せし爲め金融の逼迫を來し自然市場に於ける取引にも多大の影響を及ぼすに至れり是れが爲め從來幾分の下落あらしに拘らず尙ほ信用を維持し來りし露貨も各商人の嫌忌する所となれり

▲豆滿江沿岸十四箇所稅關出張所に於ける十月中の輸出入貿易額は輸出六萬五千百四十九圓輸入二萬三千二百圓にして之を前年同期に比すれば輸出に於て六千六百十四圓を增加し輸入に於て一萬三千八百二十六圓の減退を示せり、而して輸出入重要品に於て其の消長を見るに輸出に於ては大宗たる生牛は本年四萬三千二百十四圓にして前年に比し一千二百餘圓を增加次いで石油、白米、紙類等も著しき增加を示せり、輸入に於ては粟、魚類、煙草、燐寸等の輸入に於て一圓にして前年同期に比し[illegible]四千六百餘圓の激減を來せる結果輸入額に大なる影響を及ぼすに至れり▲淸津近海の漁業は依然鰊漁の豐漁なると鯖、ウレヤ等の魚群が來襲せる爲め十一月中の漁業は非常なる好況を呈せり、淸津の魚市場賣揚高は八千七百五圓にして本年中に於ける水揚高の最高位を占め昨年同期に比すれば實に三千八百四十七圓の增加を見たり、重なる魚類を擧ぐれば鰊五萬一千六百餘圓、鯖一萬四千餘圓一千八百九十七圓、鰈七百四十一圓鰊四百四十五圓等なり(元山)

◉連絡船上陸客 十四日午前釜山入港高麗丸一二等客[illegible]

商況

東京株式特電 十五日 前場寄付 大引

	前場寄付	大引
日本郵船	—	—
日韓瓦斯	—	—
滿鐵新株	—	—
同新株	—	—
日本麥酒	—	—
東株第一	—	—
東株第二	—	—
東新第一	—	—
東新第二	—	—

東新東株反落安

債券現物特電 十五日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	一五八、〇〇	—
日韓瓦斯	—	—
朝鮮銀行	一三九、一〇	—
朝鮮瓦斯	—	—
京城電氣	—	—

公債直取引 東京 十五日出來値段(前日との比較)

五分利特別	九五、七〇	—
甲號四分	八一、八〇	—
乙號四分	八二、九〇	—
甲號五分	九四、八〇	—

深川在米 同電 十五日出來高 [illegible]

東京期米特電 十五日前場 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 十四日前場 [illegible]

朝鮮物産特電 [illegible]

雜報

◉株式再び昂騰 [illegible]

◉呼吸的押目 て一齊反撥的昂騰を告げ主力株の如き大株は同日前場の二百二十七圓二十錢より後場[illegible]至り二百四十八圓四十錢東新は二百十[illegible]圓九十錢より二百四十六圓迄跳上げ十四日前場には餘勢一段の高値を作り[illegible]

呼吸的押目を造りたりさの發生したるにもあらず大勢は[illegible]居好に向ひつゝある際さて前日の押目は却て今前場の再騰を呼ぶに至れり

◉硝子板更に躍進 [illegible]

◉益々注文增加 外國輸出向き [illegible]

◉鐵材引弛む 丸物四分五分六分の如き [illegible] 十五圓乃至二十圓方の引弛 [illegible]

◉田作一寸石間へ [illegible]

◉亞鉛板厚物暴騰 [illegible] 高四割乃至五割 [illegible]

◉鹽鯖益々引締む [illegible] 新卷十二圓カム サツカ物八圓內外 [illegible]

下關相場 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長三三七 [illegible]

田 田中大谷商店 電話長一六二八番 [illegible]

京城正米 ○同 ○元山大豆並上 ○同上品 ○慶山大豆 [illegible]

南大門の廻米 入氣安持合 水原籾 五四叺 烏山籾三五叺 [illegible]

仁川現物市場

▲正米界の活況 [illegible]

仁川期米

▲十五日前場 五錢高の入電 [illegible]

大阪六節八十二錢 安移り [illegible] 大阪跡八十九錢 [illegible]

市場零聞 ▲前場の商戰 [illegible]

▲依然保合ふ [illegible]

市場頗ぶ閑散 [illegible]

▲目先安人氣 [illegible]

繰返す 倘保合小相場 [illegible]

安値を狙ひ [illegible]

入餘地思惑米を買 [illegible] 春高を理想す [illegible]

▲當限落後乎 [illegible]

當限落後に於て一變動 [illegible]

▲大阪期米報 [illegible]

顧客本位正確神速 仁川米豆取引所仲買人 ヒサキ仲買店 電話四二三番

仁川米豆取引所 十五日の二月限 [illegible]

北濱だより [illegible]

▲宇治電の增資 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 今村幾次郎 電話長三三七・三六八 [illegible]

本社電話番號

當分の間構內接續電話を廢し凡て局直通電話にて左の通り御呼出被下度候

編輯用 四五番 一二四番
營業用 三二六番 六六〇番
發送用 二六一六番

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三番 [illegible]

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 [illegible]

御成座 成町 電話二九一 [illegible]

壽座 本町 電話五七八 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 [illegible]

廣告

來る大正五年一月一日新年祝賀の爲め名刺交換會を開催し以て往答の禮に代へむとす御贊同の諸彥は左記事項御承知の上會費金五拾錢を添へ京城府廳へ申込まれ度し

大正四年十二月

名刺交換會發起者 原田金之祐 金谷充

記

一會場 南大門公立尋常小學校構內
一日時 大正五年一月一日午前十一時
一申込者 ハ名簿調製上必要アルニ付住所、職業(在勤先ヲ記入スルコト)氏名、原籍(府縣ノミ記入スルコト)電話番號ヲ通知ノコト
一申込期限 大正四年十二月二十日正午限リ期限經過後は申込を謝絶す

警察犬の子生後五ケ月(雄)毛色背黑、頷胸以下茶褐色十三日朝逸走す發見者又は所在申告者には謝禮を呈す 京城旭町一丁目百四十七番 大石

便利なる 姫ミシン 各博覽會共進會に於て賞牌受領 [illegible] 特價金參圓五拾錢也 [illegible] 發賣元 浪速商會 [illegible]

開店御披露

各位益々御淸榮奉賀候陳者今般皆々樣の御引立を蒙り左記の處に於て博多一流のかしわ火焚すき燒及御料理仕出し十二月十三日より開店仕り候間何卒一度御光來の上御風味被下度最も不肖勉强仕り候間にも從事致し候割烹料理て顧客の御滿足を以主こし候の御引立を程願上候 敬白

京城旭町三丁目(百三十銀行横丁)

大錦

越後大評定

第七十四席　早川貞水口演

小栗美作

然るに家老小栗美作弱年なれども、品位と云ひ、標緻と云ひ、一際すぐれたる人物、殊に文武の道を心得、越後家の柱石で御坐いますから、光長公この美作を見込んで、お勘殿を御遣はしになつた、愈々御縁談纏まり、目出度御祝言もお済みますと、家臣一同に於ても、斯くてこそ御家は盤石と、孰れも喜んで祝し合ふ、御ー姉聞も殊に睦ましく、先づ越後家大丈夫となりました、以前とは違ひ、御酒も半分程少く成りましたが、臣下一同心を協せ、上を敬ひ、下を慇み、御領分の民百姓を慈しみ。御家は益々御繁榮で御坐います、然るに茲に若殿下野守綱賢公が、愈々御元服、御冠の式を御擧げになることになつて、築地の御上屋敷天游樓と云ふ、立派な御住居、現今の海軍水交社のあります邊、天も海も一緒に望むやうな御高樓へ、御親類一統を御招待、まづ第一に伊達忠宗公、毛利大膳太夫、松平肥前守、松平大和守、松平出羽守、明石但馬守はじめ、ズーッと御列座、御家臣の方には、御縁側に於て御配膳を賜はる、愈々御酒の始まります頃ほひになると、三曲の打合など、云ふ、奥床しきものを御聽きに達し、大層御客樣が御喜びがある、其れから御能がある、御能が終つて、御狂言の御笑ひ等がありまして、御酒も次第に進み、孰れも目出度く、御興を催して居らせられる所へ、小栗美作御取持として、其席へ罷り出でまするさ松平越後守殿、御一同に對し、此席に罷り出でたるは、御承知の小栗美濃の伜美作緊成と申する者で御坐る、當時家老席に在り、當家には縁深き者で御坐れば、以後御見知り置かれまするやう」御紹介になると『アはゝ、美濃守美作と申さるゝか、コリヤ美作、美『ホ、ホーッ忠『伊達忠宗である」と仰つしやつて、御盃を下さる、有り難く御盃を頂戴すると忠『其方父美濃守は當家に對して大忠臣であつた、其身も父に劣らざる所の忠義を盡し、御家を泰山の安きに守護いたしくれ何分とも相頼むぞよ」美『ハア恐れ入り奉る』頂戴したる御盃を、懐中より取出したる白紙を以て浄め『恐れ多くも御返盃仕る』すると此度御隣席の毛利大膳『是はゝゝ、美作なるか、以後見知り置け、予は大膳大夫である』美『ハア恐れ入り奉る』大『承はれば父同様の御誠忠、何分ともに頼む』御盃を下さる、御一門の方々が、皆それであるから小栗は愈面目を施し、謙遜つて御辭儀いたす、其容子が如何にも好いから皆見惚て御居でなさる位『ア、越後家は良き家臣を御持ちなされた』と皆様が御賞め遊ばす中に、明石但馬守だけ、御盃を下し置かれぬのみか、睨んで御居でなさる、尤も此御方は、御酒の上が悪い所へ先般御自分の御子息若狭守樣のため御望みになつたお勘殿を、御斷りになつて、其美作に御遣はしになつて、小栗美作が今日この席へ罷り出で御親類御一同より御盃を頂戴してチヤホヤ言はれる有様は悪くしと思召す明石但馬守殿の御眼には、甚だ以て氣に入らぬ。

入院隨意(診察夜九時迄)
皮徽科
皮膚病 徽毒病 痳病 膀胱病 生殖器 機能障礙
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元二町)
佐藤醫院(電話一七一三番)

入院隨意(診察夜九時迄)
泌尿器病 專門
腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院(電話四一九番)

十二月十七日 九星
舊十一月十一日 壬午
本命 一白 北破 先負

[illegible]

流經新藥レスノリン
月經 防止四五ヶ月以内ノ者ニ服用ノ目的ヲ達シ
流經 作ルノ確實ナルコト他藥ニ優越ス
發賣所 大阪北區曾根崎上一丁目三六地 **常盤藥院** 振替大阪二八三七C

消渇で困る方 多年の慢性もの
りん病
自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其妙藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町 **武藤角吉**

MEP 名案家庭良藥 ゴムマリ
大阪府南物町四段田商店

期米 取引確實
定期米賣買之栞無代進呈 前金注文は紹介を要せず
大阪市北區堂島濱通二丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人
入江商店 電話長 一九六 二九五 七三 一四六一

拙者はかぜの神である、年中あらゆる人間の油斷をのみ覗ふてゐる、而も今は拙者の最も得意の時候だから、ドシく肺炎や窒扶斯の種を蒔て苦しめてやる、其中酷く侮る奴は用捨なく殺して了ふ、然しハカリ印のヘブリン丸は拙者唯一の強敵である、拙者が如何に暴力を振ふても忽ち撃退されて了ふ。實にハカリ印のヘブリン丸には流石の拙者も兜を脱がざるを得ないのである。

本舗 大阪 **參天堂藥房**
大阪田口のヘブリン丸を左の商標其他ハカリ印のヘブリン丸を改稱したり

朝使へば一日中顔色を活々と美しく保つ新式化粧液!
美顔ユーマー

容色の善惡はうまれつきで仕様の無いものか、美しくなるこいふやうな事は、實際に出來る事なのだらうかとは、婦人方は固より男子方の間にも、疑問の種となつてゐるやうですが、併し出仕しての女中さんでも都會で長く奉公してゐる中には**次第に見違へるほど綺麗に**なる所を見ますと、誰にしても手入の工合によつては美しくなれる筈では御在ませんか。唯問題は然う氣長でなく一飛に美しく成度いが其は出來ぬかといふ事に成ます**是は人情然るべき要求です**から何とかして其御要求を充し度いものと、桃谷研究試驗部の學者は先年來熱心に研究を始め、此頃になつて漸う完成したのが此美顔ユーマーです。此品は最初から學者の目的とした通り**朝使へば一日中顔色を活々と**美しく保つといふ、從來の化粧料に無い、全く新規な作用を有つてゐるばかりでなく、膚の荒を防ぎ肌理を美くする力が強く、使へば使ふ程素顔を美しくし、白粉の溶水や白粉下や白粉おさへとして一際優れてお化粧を艶やかに美しくし、且は男子方のかくし化粧にも適し、殊に前言つた朝使へば一日中顔色を活々と美しく保つといふ點では、お誂へ通り**一飛に美しく見せ度い方々**には此上ない品です。見た所美顔ユーマーは乳白の濃厚化粧液ですが、併し從來の濃厚化粧料と同様に思召したら大違です。一度お試しになれば直ぐお分りになる通り**從來の濃厚化粧料と違つて**今回桃谷研究試驗部で發見した或全く新規な粘液美容素を主張にしたればこそ、斯く美容上にも全く新しい作用のある品が出來たのです。現に各宮家御用美顔術大家マリールウキズ孃は、宮家をはじめ、東京の華族方の御家庭に召された際、美顔ユーマーを美顔術に應用して立派な効果を得て非常に喜ばれ、是は全く珍しい品であるとて引續き用ひて居られるのを見ても此品の効果の確かな事がお分りになりませう。定價は一瓶金二十錢お試しになつて決して御損のない事を斷言致します。各化粧品小間物店等に賣つて居ます。

不思議な効果ある美顔ユーマーを創製したる
桃谷研究試驗部
顧問 ▲丹波醫學博士
同 ▲山本醫學博士
主任 ▲桃谷藥學士 ▲小西藥學士 ▲齋藤藥學士

冬は血肉衰へる冬合日が召せ
次亞燐
のむに從ひ 血をふやし 肥つて強壯
●賣捌は各藥店にあり

金牌受領 淸酒美林燒酎 釀造元
上酒壹升に付**四拾錢**
御酌は特に割引可致候
京城櫻井町一丁目 電話百七十七番
中井酒造場

諸官衙御用達
洋藥 賣藥 卸問屋 醫療及試驗器械
くすりは山岸
懇切叮嚀、迅速確實、に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前 **山岸天佑堂** 藥品部 器械部
電話 一二〇二 六二 一六七 振替貯金口座京城二〇三

新築御披露
四方の御客様方特別の御引立を蒙り難有御禮申上候御蔭を以て日に隆盛に趣き從來の家屋にては狹隘を感じ候て錦町街角に新築中の所漸く落成移轉仕候間倍舊御引立の程伏して懇願奉り候 敬白
忠州錦町 **末廣館**

新年用 **名刺**及**はがき**
明治町二丁目(教會堂通)長崎名物屋
東洋一流行の鯢
內田式ストロング鍛は堅牢優美、價均一耐久保證す

御旅行用 **靴と鞄**
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角
內田靴鞄製造問屋 電話 一五五一、一八〇一

優等清酒
一鶴
京城本町參丁目電話六五四番
本莊酒店

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
- 秀吉丸 十二月 日後四時出帆
- 君が代丸 十二月 日後四時出帆
- 土海丸 十二月 日後四時出帆
- 神代丸 十二月 日後四時出帆
- 大有丸 十二月 日後四時出帆
- 第二太湖丸 十二月 日後五時出帆

仁川海岸通二丁目 電話七九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○(內地沿岸航路船は〇印と記し五分引を以て連絡切符發賣仕候)
- ○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 温州丸 十二月十五日 / 須磨丸 十二月十九日 午後五時出帆 / 漢城丸 十二月廿二日
- ×○木浦、釜山、長崎行(▲は鎭南浦に寄港) 安東丸 十二月廿四日 / ▲城津丸 十二月十八日 午後二時出帆
- ×○鎭南浦、大連行 安東丸 十二月二十日 / 城津丸 十二月廿八日 午後二時出帆
- ×◎鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 濟州丸 十二月 日 正午出
- ×◎門司、大阪行 濟州丸 十二月 日 正午出
- △△○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十二月二十日 / チヨイサン丸 十二月卅日 午後四時出帆
- △△○大連直行 千珠丸 十二月 日 / チヨイサン丸 十二月廿日 正午出帆
- ○清津、浦潮行(元山出帆)(▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港) 久丸 十二月十八日 / 宮丸 十二月廿八日 / ▲大智丸 十二月十六日 午後三時出帆
- ○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 北丸 十二月廿九日 / 湖高丸 十二月十七日 午前十時出帆

御注意 ○朝鮮鐵道及滿鐵切符發賣仕候 ○關東船客は本船出帆約一時間前迄無賃送迎可致候 ○×印は一等客迎船不可

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話 一二番 二〇番 五五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話 七八〇番
中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

汽船釜山出帆廣告

- ○門司、神戸、大阪行 交神丸 十二月廿一日後五時出帆
- ○元山清津浦鹽行 立神丸 十二月卅日後十時出帆
- ○門司、神戸、大阪行 小倉丸 一月 四日後五時出
- ○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 十二月廿三日後十時出
- ○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十二月廿一日後九時出
- ○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 一月 一日後六時出
- ○佐須奈、厳原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆

本船取扱店 大池回漕店

阿波共同汽船仁川出帆

- 大連、芝罘、大連行 共同丸 十二月十七日後二時入 / 十二月十九日前九時出(仁川碇泊中は街島行定期船にて通し輸送御取扱可仕候)
- 第一阪鶴丸 清津、浦鹽行(元山出帆) 十二月 日 後九時出港
- 西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 十二月二十日 前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部 仁川代理店 田口回漕部 元山代理店 河村運送店 京城代理店

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
- 相模丸 十二月廿七日 正午出帆
- 高砂丸 十二月十八日 正午出帆
- 竹島丸 一月 三日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕部

朝鮮郵船

仁川出帆 電話長一九五二番 二二三番
- 全羅丸 十二月 日 / 京畿丸 十二月廿四日 / 黄海丸 十二月廿八日 / 咸鏡丸 十二月十八日 釜山發(仁川より釜山各港寄港航路)
- 隱城丸 十二月十九日 / 馬平丸 十二月 日 / 鏡城丸 十二月十五日 元山發(元山より各港經由雄基行)
- 平壤丸 十二月 日 / 忠淸丸 十二月廿二日 元山發(城津、清津、浦鹽行復航各港經由門司)
- 永興丸 毎月廿八回 元山發(北久味、方面浦行 又は長崎延長)
- 嘉島丸 十二月十八日 釜山發(甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)
- 江陵丸 / 襄陽丸 毎 日 釜山(浦項)發(長生浦、方魚津寄港)
- 三浦丸 十二月十六日 釜山發(長承浦、浦水、巨文島、濟州、各港寄行)
- 海州丸 / 巨済丸 / 統營丸 / 慶寶丸 毎 日 釜山發(各港經由麗水行(三日目一回木浦行))
- 順天丸 三日目毎 木浦發(各港經由麗水行麗水より釜山行に連絡)
- 慶興丸 十二月十六日 木浦發(各港經由濟州島行(西廻))
- 公州丸 十二月 日 木浦發(南多島海列島行(月二回))
- 公州丸 十二月 日 木浦發(各港經由濟州島行(東廻))
- 宗信丸 十二月十七日 仁川發(海州龍各港經由、鎭南浦行)
- 江原丸 十二月十六日 仁川發(芝罘、大連、青島行)
- 順水丸 / 晉州丸 十二月廿一日 仁川發(各港經由木浦行)
- 全南丸 / 陽丸 毎日午前 仁川發(江華島、橋洞島、海州行)
- 平安丸 十二月十九日 群山發
- 十二月六日 若松發(住航 大黒山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行)

京城府南大門通 松原運送店 (電話 長 二二七)

京城日報

THE KEIJO NIPPO　大正四年十二月十六日　(一)

(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)　(毎月無休刊)

十六日朝刊　(第二千九百七十四號)

京城日報

會議所の選擧

當選者に望む

京城商業會議所の評議員選擧は……其の結果は本……の如し。吾人は並に……に對して祝意を表するもの也……めて是等の人々に對して聊か希望する所あり。

今回の選擧は商業會議所令に準據して本月四日設立を認可せられたる京城商業會議所の評議員を選出したるものにして、曩日の會議所議員を選むとは、自から其意義を異にするものあり。從に被選出者の責任義務の點より謂ふも、輕重大小同日の論に非ざる也。

會議所は改めて言ふまでもなく商工業の機關にして、之れが活……の如何は、取りも直さず商工業の……に影響するの大なるべきは勿……也。京城商業會議所の事務の範……商工業の改善發達に必要なる……又は商工業の狀況及び統計を調査發表し、商工業者の要求に依り商工業に關する事項を調査し、官廳の命に依りて商工業に關する事項を調査し、又は其の諮問に應じ、關係人の請求に依り商工業に關する紛議の仲裁、其他商工業の改善發達に必要なる施設をなす等、要するに調査機關として、將又諮問機關として公共的性質の上に存在するものたり。

由來我邦の商業會議所は、概して右の如き任務を有するに拘らず、其の爲す所往々にして形式に傾き、充分實際の效果を擧げ得ざるの憾なきに非ざりしが、商工業の發達と共に近來會議所の活動が頗る有意義にして有効なるに趨くの大勢に在るは吾人の欣快とする所也。

殊に産業開發の實効を今後將來に矚すること大なる我が朝鮮に在りては、商工業の發達は貿易の均衡上至大の關係を有するが故に今後之に向つて多々倍々努力を要すべきは、何ぞ吾人の言を俟つて初めて之を知らむや。吾人は追て幾多の問題について商工業の代表者たる諸君に對して希望し注文する所あるべしと雖も、茲には只會議所議員たる諸君が、善く自己の立場を自覺し、議員たるが爲めに議員たるに非ずして、商工界の舊慣打破すべきものは打破し、新たにすべきは新たにし、鋭意專心半島經濟界に貢獻するの覺悟を以て公共の事に當らむを望む。

新支那漫言（十二）

布施知足

吾等は今や吾が此の一小論文に於て言はんと欲したる最後の問題に到着せり他なし國民終局の理想は善政にあるか自治に在るかの問題之なり此點に於て吾等は復吾等の見る所が人の見る所と異るが如く感せざるを得ず人は多く善政を以て統治の終局とし吾等は却て國民の理想は善政にあらず必らずや自から治むるにあるを信ぜんと欲す吾等は乃ち世論が比々として支那の菲政と民人の疾苦とを力說し結局善政を以て支那國民が要する凡てなるが如く說くに反對せざるを得ず今の支那が要する所は恐らく善政なるべし然れども善政に因りて發生し爲に思索の餘裕を得たる支那が果してよく何時までか其善政に滿足し得べき吾等は近代精神の特質の一は個人が自から治むると共に國民も亦自から治むべきを教へたるにあるを信ず何れの國民と雖も善政の次に要求する所は結局自治ならざるべからず吾等は我國民の理解が明白に此點に向つて注れん事を望む吾等は支那を以て世界に特絕したる奇異なる邦とし支那人を以て普通外れたる心理狀態を有する人種なりとは考ふる能はず支那は世界の一部のみ世界以外の一國にはあらず支那人は吾等が普通の人間なるが如く亦普通の人間なり澎湃たる近代精神の波濤は結局支那をも侵さゞるを得ず否支那は既に其の波濤の飛沫を浴びたり吾等は支那近時の革命思想を以て其背景を近代精神の勃興に置くべきを思ふ即ち近時の革命運動の趣味は其主動者が概ね近代精神に觸れたる青年にしてかの舊式の秘密結社の徒が殆んど一指をも之に加へ得ざる點に在り此意味に於て吾等は袁氏が多く青年の思想に快からざる所謂老成の徒を以て團繞せらるゝを見其政治を危ぶまざるを得ず何ぞ況んや善政を以て終局の理想とし之に據つて萬事を決せんとする頑固なる思想をや支那の事は到底支那人の感情を外にして爲し得べきにあらず而して吾等は覺めたる支那人の感情に敬意を拂はざるべからざるを感ず國民の感情が善政を施す者を嘆美したる日は既に逝けり自覺せる國民の理想は到底自から治むるにあらざるべからず印度近時の動搖を看よ吾等は之が原因を以て統治者たる英國の非政に歸せんよりは寧ろ近代精神の勃興にありとするの當を得たるを思はざる能はざらんとす而して之れ地を易ふれば支那に於ても亦當に然るべき現象のみ吾等は世人が此近代精神の一大事實と支那の青年が既に此精神に觸れたる事實とを看過せざらん事を望まざるを得ず吾等は吾邦の識者の中猶善政が國民統治の問題を解決する凡てなるが如く考へ我邦が之を以て支那に臨み得べきが如く思ふ者あるを見て甚だ之を危ぶむ吾等は我邦の理想が終に此の如くにして已むを喜ぶ事能はず更に其理想の差違が結局對支の政策に甚だしき相違を來すべきを思ひて不安なき能はざるなり吾等は今に於て東洋人の東洋を背景とする粗笨なる日本進取論を以て支那に臨むに贊する能はず寧ろ先づ支那人の支那を根底とする支那の改造に同情し之に助力するの可なるを思はざるを得ず吾等は我邦の識者が先づ此點に於て明白に其思想と態度とを決せん事を希ふ(完)

朝鮮葉煙草政策私論（七）

葉煙草仲買機關設立の急務

廣江澤次郎

仲買會社を急設せよ(下)

人或は現に仲買の存するを云はんも、薄資なる彼等何をかなし得んや寧ろ弊害を醸すなきやを憂ふるものなり。絕對に吾人は煙草耕作と製造の進歩發達に連れ、益々分業を熾んならしめ耕作者は當局の指導の下に一層品質の改善と增産を專心に圖り又製造家は現在の如く本業の外倉庫業と葉煙草仲買を兼ぬるの煩を避け一意專心製造と販賣、特に支那雄飛に全力を注ぎ度きものなり。勿論賢明なる總督府は夙に此間の消息を知り苦慮するや久し。而して本年の如きは銀行側に葉賣智識を注入し、略々六縣道融通の途を開き、又三井物産を說き遂に物産をして半ば任俠的に進んで此衝に當らしめ、既に其著しき効用を一部に感じつゝ有り。吾人は當局の熱誠と三井物産及び一部の銀行側に深く感謝するもの也。又親切なる斡旋家として有名なる慶北財務部長吉村謙一郎氏及び忠北財務部長佐々木志賀二氏等の葉賣に熱心なるは吾人感謝の外なし。佐々木部長に最近の逸話あり、先月曖昧なる山東農民が稍々豐作に乘じ、競つて投げ賣を始めんとするや、其市價の殺落を憂ひ、自ら全責任を負ひ地位を賭し、極力之れが防止に努め、遂に相場を或程度迄保持し、耕作者を歎らしめず、又製造家に惶惑を來さざらしめしが如き、其辣腕振りには吾人大に人意を強ふするものありたり

結論

吾人は各方面より朝鮮産業を研究し、絕對に之れが有利有望なる事を確認し、尚進歩と共に分業の必要を說きしが、吾人は是非共前述式經濟法により、……半島民の朝鮮葉賣販賣會社を設立し、總督府監視の下に賣耕作組合倉庫業の備を作り、之れに需給の調節を圖らしむると共に、益々改善の途を講せん事を熱望するものなり。勿論斯くの如くせば葉煙草税の增徵にも便なると共に、兼て朝鮮産業の外國輸出機關ともなりぬべきを信ず。若し夫れ幸にして本論の容れられんか吾人は更に精細なる數字を示し、之れが實現に大努力を厭ふものに非ず。（……）耕作者と製造家の喜びのみならず、實に朝鮮産業界の一大福音と信ずればなり。歲末匆忙の際の執筆文辭を修飾するに遑なきを幸ひに諒せられん事を（畢）

朝鮮の先史民族

八木奘三郎

(二)朝鮮先史民族の發見

朝鮮の先史民族は如何なるものぞ、此問題は後に讓る可きも、歐洲の學者中には之をアイヌなりと說くもの有り又日本の學者中にも斯く稱するもの有れども是等の人々は多く推測上より論せし迄にて、吾人の如く實物と人骨とを蒐收して考證せしものには非ず、故に其說今に及んで崩壞せりと謂ふ可し、而して古物上より注目せし人物は單に今日に起りしにはあらざれども遺跡の發見乏しかりしと、且は推考を過まれるとに依り其の事情は朧月夜に遠山を望むが如く、有無判然せざりしなり、而も順序として右の概略を次に述ぶ可し。今より三十年前、即ち明治十九年十二月當時の元老院議官にして人類學會の會長たりし神田孝平氏は開城より發見せりと云ふ磨製石劍を世に紹介せられしが、後八年近くを經て同會の幹事たりし若林勝邦君と云へるが朝鮮發見の同石劍にして米國の雜誌上に掲載せし分を引用せしこと有り、後又四年餘を經て、黃海道鳳山郡の古墳より出でたりと云へる磨製石鏃を世に發表せしもの有り、是等は朝鮮石器の邦人間に知られたる例なるが當時日本の古墳内より石製品の出づる類を見馴れたる學者間に在りては凡て之を模造品と認定せしなり、且は日本の古墳中、予の第三期に加ふるもの、中には實物の代用品として當時の小刀、檜、鏃、鏡其他の類を小なる石製物に造つて埋藏せし風習數多あるを以てなり、殊に開城は歷代高麗王陵の存する所、又鳳山郡の分は古墳より出でたりと云へば、斯く推定せしは無理ならぬ次第なりし、尋で予は明治三十三年始て韓國調査の爲め當地に出張して釜山方面より慶州地方を巡り、大邱に出で、鳥嶺を越へんと欲し數日の後、聞慶に達せしが、其の手前にて日本の石器時代に見るが如き凹み石及び打製石斧に似たるものを採集せり、是れ朝鮮に於て純然たる先史住民の遺物を獲たる初めなれ共、石斧の如きは確否を決する丈の完品にあらざりしを以て、遂に其發表を躊躇せり、當時又抱川の地に於て先史住民の古墳なる撐石を實見し、且つ撮影して歸りたるにも拘らず單に右を朝鮮最古の墳墓と認めし迄にて其眞相を知ること能はざりしなり、爾後石器の正しき品を學界に報道せしは今西龍君にて、是より遺物次第に世に顯はれ、鳥居君、和田博士、予等皆正確の品種を得ると同時に、當時の遺跡をも發見し、同時に予が一の疑問とせし撐石は實に先史住民の墳墓にして前掲鳳山郡の分も亦同一古墳なることを推察し得たり。

斯く朝鮮の石器は三十年前より日本人の手に入りしも初は模造品と認定せられ、最近に至りて先史民族の遺物たることを確證し得るに至れり、然れども今秋開催せし共進會の出品物を見るに鮮人にして古くより石器を所藏するもの有り、其品は咸鏡道地方より出し磨製石斧にて表に雷斧と記載せる札紙あり、蓋し咸鏡道方面は石器尤も豐富にして多く鮮民の目に觸れしなる可く、隨て之を採集せしならんが、之を雷斧と稱せしは支那の名稱を襲ひし譯にて、他にも支那思想を繼承して筆錄せし文あれば以下其例を紹介す可し。

京日詩壇

○寺樓月夜醉中　高田小芥

涼月來臨古寺樓。人憑欄角御吟甌。中下經空王座。群動無聲顏氣稠。

評曰　無垢如珠、可供佛也。

○同　上　古城梅溪

百尺樓頭萬籟沈。天高月小古禪林。游此頗可無酒。勿謂山門禁醉吟。

評曰　洗別塵氣、徹高而亮。

○同　上　雉島紫峰

樹酒寺樓上。冰輪轉入懷。宛然身欲佛。醉裏忘形骸。

評曰　超然世外情、鈍根人不覲得。

○同　上　成田魯石

薺酒夕陽山寺樓。無心明月照淸秋。……入定僧俳醉。忘青雲與白頭。

評曰　風流逸宕消可想。

○同　上　松田學鷗

把酒錯除燭搖風。山樓百尺月明多。夜深懸崖空王笑。睥睨乾坤放醉歌。

評曰　意氣彷彿張船山除夜作。

○同　上　小永井槐陰

淸夜孤燈寺裏樓。月生松影風動鐸。吟秋老衲添詩興。醉醒掃客愁。見欄長嘯久。霜氣撼林邱。

評曰　淸逈岩越、優見杜格。

○同　上　安永春雨

淨域携壺酒。騷人避暑來。斷崖銀河落。危樓石山頹。空王雖微笑。塔邊月徘徊。

評曰　幽淸脫俗、非塵垢人之語。

○同　上　村上石城

月照山樓夜氣淸。絕無四面俗氣生。與僧對酌冰壺酒。一味禪談到五更。

評曰　心地玲瓏無一點塵。

○同　上　圓山牧雲

東林夜靜磬聲收。雲散風微人倚樓。一艇能醉月。平香四海付浮漚。

評曰　無一點塵氣、作者境遇可想也。

○初冬野步　古城梅溪

訪花賞月步紛紛。又被小春催我文。十里山坂君見否。楓紅松綠正平分。

落葉無聲溪水潯。空山呼友獨鶴吟。人間詎耐風霜勁。蕭殺寒郊十里林。

寒烟冷露日層曖。芳菊欲衰楓色多。賦客休怨時物。人惟不怨物如何。

評曰　情景兼到、第一首殊出色。

○郊遊雜詠　高橋空齋

觀然樓閣倚山邱。映帶江流灝氣浮。遠望長蛇奔宙外。笛聲飛處是安州。

評曰　余亦曾登百祥樓賦其壯觀、讀高作不堪懷舊之情。

淸川江

長江堤淡繞平田。過雁相呼夕照前。立馬沙邊回首處。笑看搜影落淸川。

評曰　幽淸之至、結句殊佳。

湄川

昔閣層樓碧岫前。長橋百丈架淸川。須知造化愛時客。澄潮鮮鱗躍酒邊。

評曰　使人呼快哉。

直嶺

峻嶺三千尺。楓林錦映天。時聞猿叫。馬背破閑眠。

評曰　健筆闡幽。

狗峴嶺

人稱狗峴嶺。天開獨怪峰。……代尉貂無所歇。唯聞鳥語和泌淩。

評曰　栗代尉猥無所歇、何等妙句。

發行兼編輯人　……田直……　印刷人　……山政太郎　發行所　合資會社京城日報社

法人及商業登記公告

加平地方金融組合組合長李潤稷ハ大正四年拾壹月參拾日死亡シタリ
右大正四年拾貳月拾日登記

京城銀行株式會社監査役秋吉富太郎、三田政治郎ハ任期滿了ノ處大正四年拾貳月拾日重任シタリ

同會社取締役池田長兵衛、三好和三郎、明田三穗、小林藤右衛門、永井新之助ハ各任期滿了ノ處大正四年壹月拾八日重任シタリ

同會社監査役秋吉富太郎及三田政治郎ハ任期滿了ニ依リ大正四年拾壹月拾八日退任シ同日左記ノ者監査役ニ當選就任シタリ

京城府本町貳丁目五拾八番地　釘本藤次郎
京城府本町壹丁目五拾壹番地　篠崎半助

株式會社百三十銀行ハ大正四年拾貳月六日福岡縣遠賀郡八幡町大字尾倉字宮ノ前千貳百參番地ノ壹ノ支店ヲ同町大字尾倉字稻光千百八拾四番地ノ九ニ移轉シタリ
右大正四年拾貳月拾壹日登記

支配人選任
支配人ノ氏名住所　京城府嘉會洞百七拾壹番地　韓鎭敎
主人ノ氏名住所　京城府南大門通壹丁目拾四番地　株式會社漢城銀行
支配人ヲ置キタル場所　京畿道高陽郡龍江面上里參統參戶
右大正四年拾貳月拾參日登記

京城地方法院

解雇廣告

器械部店員　岩崎武臣

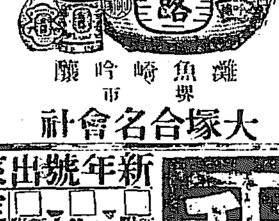
右之者十一月廿九日限り解雇仕候條右今後弊店と一切關係無之此段廣告仕候也

京城本町一丁目　山岸天佑堂藥房　同　器械部

警察犬の子生後五ヶ月(雄)毛色背黑、顏胸以下茶褐色十三日朝逸走す發見者又は所在申告者には禮を呈す

京城旭町一丁目百四十七番　大石

醇良　清酒



灘魚崎吟釀　堺市　大塚合名會社

飛行少年

新年號出來

附錄　五大將軍の世界五大英雄觀……仲水貞一
▼名飛行家の空中格鬪
御大典拜觀　井上中將
▼秘密小說　天魔怪塔……宮地竹峰
附錄　軍國飛行雙六
冒險小說　絕壁魔城　宮崎一雨
▼英艦と奮戰す
痛快小說　大飛躍　黑田湖山
▼會津游士を斬る……河村……
探偵小說　血十字團　溝口白羊

定價　普通號　一部十一錢六部六十三錢十二部一圓廿二錢

東京市京橋區日吉町　日本飛行研究會發行　振替東京二六三二〇番

本號一冊　拾五錢

當選御禮廣告

今回京城商業會議所評議員撰擧に際し有權者各位の甚大なる御同情により當撰の榮を辱ふし難有奉深謝候乍略儀紙上を以て御禮申上候　敬白

大正四年十二月十五日　(イロハ順)

原田金之祐
林茂八郎
林田金次郎
西村道彦
唐川立造
高木德彌
岡正矣
釘本藤次郎
天日常次郎
佐野彦藏
廣江澤次郎
關繁太郎

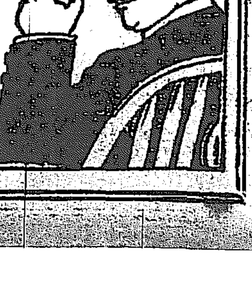
百萬金を投ずるも健康は購ひ難し

蜂印香竄葡萄酒は

朝夕一杯宛にしてよく身体の健全を保ち精力の増進を來す

何となれば無限の滋養と其美味とはすべて血となり肉となり力となる

內外國の最高金牌廿四個受領



發賣元　東京本町　近藤利兵衛

▲更に動かず

十五日の二月限

十二月限　五千石

正米……　賣買取組高……

第三十七回帝國議會

衆議院（十五日）

▼豫算總會

衆議院豫算總會は十五日午前十時半開會、野田浅井陽吉氏(同志)政府の植民地政策如何と質し

△一木内相　政府の植民地政策は自作自給の方針にて朝鮮の如きは漸次財政の獨立を計りつゝあり又は樺太の如きも年々國庫の補助を減じつゝありと答へ浅野氏更らに九州の如き未設鐵道を如何にすべきやと質し一木内相要するに何れも財源なき爲めに政府も亦た之れを遺憾とし居れりと答へ次で

△加藤定吉氏(中正)　國庫補助を受けつゝある民間會社の多くは常に官吏と結托しつゝありといふ噂ある局は之れを知らざるやと問ひ

△武富藏相　問者の言ふが如き結托などの醜事なしと信ずと簡單に受け流せしに加藤氏は押しかへして二三の問答ありて舌鋒を遞信所管に向け時局の爲め各汽船會社は巨利を收めつゝあり政府は之れに對し尚ほ補助金を與ふるや又た造船奬勵費の如きも聞きたしと

△荒川參政官　遞相貴族院に出席中に就き自分より答辯すべしと前提し頗る懇懃に航路補助造船奬勵の何れも政府の喜んで與ふるものにあらず他に良法あらば謹んで敎を乞はんと當らずさはらずの答辯をなし加藤氏今度は滿蒙問題に就き外相に鋒を轉じ

△小池政府委員　滿蒙鐵道の敷設警察權の行使土地所有權問題等詳細なる答辯をなしたるに鈴木萬次郎氏(國民)は横槍を入れ各員の質問は頗る冗漫にして容易に盡きざるにより簡潔ならんことを望むと述ぶるや片岡委員長は尤もなりと答ふ此の時添田總裁出席せしかば淺野氏は更らに前回の質問を繰返し答辯を求む

△添田總裁　は鐵道を半官半民に移すや否やは財政動員等の關係上容易に言明し難し又廣軌に變ずるや否やも言明の自由を有せずさりながら之れが普及を計るに就ては最善の努力をなしつゝありと述べ無難に初陣を切拔け次で

△的野半介氏(公友)　は三井三菱の時局より徴兵を出したることなしといふ事實なりや又た日露戰役の際長州人の戰線に立ちたるもの僅少なりと事實如何と質し陸相さる事實なしと斷じたるに的野氏は更に赤羽、福岡等の火藥庫事件に就き問ふ所あり岡陸相の答辯に次いで委員長は昨日の柏原氏の質問(軍機賣却の内容)に對し秘密會として陸軍當局の說明を聞くべしと告げ十一時半秘密會に入れり(東京特電)

○支那の回答と協同宣言

支那帝政問題に對する日英佛露伊五箇國の協同宣言に付ては主義及び形式に關し五國の意見一致し唯或る問題に付き某國と意見の交換中なりしが漸く其議も纏りたるを以て帝國政府は十三日夜日置公使に五國協同宣言を支那政府に提出すべく訓電を發せり而して他の協同國も各々駐支自國公使に同樣訓電を發せるを以て北京に於て右五國公使打合せの上北京政府に提出する段取りなり該宣言書の内容は此處に言明するの自由を有せざるも五國の帝政延期勸告に關する支那政府の回答が不滿足なるものなるにより更に五國の帝政に對する態度を聲明するものなり(東京特電)

○君主立憲制と憲法

北京政府より十四日附左の如き命令出でたり(北京電報)

一、全國民既に君主立憲を決定したれば憲法を迅速に製作せざるべからざるに付き參政院に命じ憲法に通達せるものを推薦せしめ之れが起草を爲さしむ憲法制定の順序に就ては參政院に諮して愼重審議せしむ

二、各部員は今回の帝政決定に付き國を益し民を利すべく意を加へて研究すべし繁文褥禮を避け節略懇切を旨とすべし

列強大戰

○聯軍自由地帶

希臘軍隊一個師團はセンス迄撤退しサロニカよりドウランに至る間の地域を以て聯合軍の自由地帶と爲したり尚希臘對聯合國の外交は形勢良好と爲れり(倫敦電報)

○聯軍新地占領

敵國側の公報に依れば敵軍(聯合國側)はドイラン及びグヴグリを占領せりと(倫敦電報)

雜報

○家蠶種の統一　内地蠶種の普及

朝鮮在來の蠶種は頗る雜駁にして極めて劣惡なる三眠蠶なりしより總督府にては從來勸業模範場をして優良なる内地蠶種の製造配付を爲さしめたるに該種は蠶兒強健成繭優良にして其繭價は普通在來種の約三倍以上の高價を以て賣買さるゝより之れが飼育を希望する者頓に增加し同場にかける少數の配付にては到底急速なる改良を望み難き爲め總督府にては一時該種の購入配付を行ひ又地方廳に在りては極力各蠶業傳習機關に依りて製造配付を爲すと同時に一面には補助金を交付して蠶種の共同購入を勸誘する等大に

▲内地種の普及　に努めつゝあり、今大正三年中の配付額は總督府及び勸業模範場よりの配付數一枚、二十八蛾七千八百六十八枚、地方廳の配付數四萬九千九百六十五枚、合計五萬七千八百三十三枚にて又た本年は夏秋蠶種は未詳なるも春蠶而已にして尚ほ總督府並に模範場の配付數二千八百六十二枚、地方廳の配付六萬四千八百六十三枚、合計六萬七千七百二十五枚に達せり、而して其繭は解舒良好にして内地の生産繭に比し遜色なしと雖も進歩せる製絲の原料として内地に移出するには更に其品價の向上と品種の一定とを圖る必要あるを以て大正元年より勸業模範場は

▲原蠶種の製造　に着手し大正二年には既に一千四百枚を配付し大正三年には二千六百九十七枚を配付したるも蠶業の發達に伴ふ原蠶種の需要增加は到底之れに應ずる能はざるを以て大正三年度よりは勸業模範場に於て原々蠶種を製造配付し地方廳は此原々種に依りて原蠶種を製造し、之を一般蠶種製造者に配付し絲繭用蠶種の製造を爲さしめ以て蠶

○木材新炭貿易

鴨綠、豆滿兩江流域の産出材は一部は支那等に輸出せられ、一部は朝鮮内地の需要に充てらる、而して右兩江流域以外の森林に於ても多少木材の産出なきに非ざれども其の材質一般に粗惡にして各種の需要を充し難く加ふるに朝鮮内陸の發展に伴ひ主として内地人家屋用材の需要增加したるを以て内地及び外國産木材の供給を仰ぐこと尠からず、今大正三年中の輸移出入價格を示せば輸移出額は五倍子一萬二千四百八十八圓、木材及び板十四萬五千八百三十八圓、薪材一萬六千六百七十一圓、木炭二千六百七十四圓、合計十七萬七千六百七十一圓にして輸移入價格は椎茸二萬八千八百十二圓、橡腦五千十二圓、汽船及び帆船三十七萬二千四圓、小舟四千四百四十二圓、其の他車輛船舶及び同部分品十七萬八千七十五圓、草木及び當根十六萬六千二十圓、漆器六萬六千四百十三圓、鐵道枕木五十二萬七千五百二十八圓、木材及び板四十二萬九千二百十五圓、其他七十三萬七千四百八十二圓、竹材五萬二千九百六十八圓、襖及び障子二萬五千二圓、薪材十一萬二千八百四十七圓、木炭十萬七千九百九十九圓、燐寸十九萬八千四百五十四圓、竹製品四萬千九百二十圓、木製品十六萬五千八百二圓、合計三百二十一萬九千九百九十五圓なりと

○畜牛輸移出額

畜牛の輸移出狀況に付きては時局と産業界てふ題下に於て其大略を報道せるが其需要地は内地、露領沿海州、支那等に亙り將來有望なる重要輸出品の一たるを以て更に之を輸移出地別として詳記す可し

▲内地の需要　近年内地需要者が朝鮮牛の優良なるを曉りたると檢疫移入の危なきを知りたるとの結果購入を希望するもの漸次增加し移入後は一度農耕用として使役し適當の時期に充分肥腴せしめ肉用として賣却するときは利益多きを以て益々歡迎せらるゝ狀況なり、今之れが移出狀況を見るに明治四十三年に在りては頭數一千三百十九頭價額二萬四百八十四圓に過ぎざりしもの大正二年には八千二百九十頭價額十九萬五千七百三十八圓に達し更に大正三年中には一萬千五百十七頭價額卅萬九千九百十一圓を算するに至れり

▲露領輸出　從來肉用の目的を以て浦鹽斯徳へ輸入し來りたるものにして明治四十三四年頃より毎年一萬八九千頭の輸出を見たりしが大正元年に至り突然露領貿易に從事する商人の破産に依りて一時輸出を減少し更に大正三年に至り露國政府は生牛の海路輸入に對して嚴重なる檢疫を行ひたる結果全く北方面の輸出を杜絶するに至りたるも咸鏡北道、慶興、龍井市場其他陸接國境よりの輸出漸く好況を呈し同年中同方面への輸出頭數は七千百三十六頭價額三十四萬二百八十八圓に達し更に本年に入りては益々好成績を示せり

▲支那の需要　同方面への輸出牛は主として輸出後農耕用に供するものにして一部分は安東縣地方に於て屠殺さる、而して輸出頭數には年々消長あり明治四十三年に在りては一千八百八十二頭價額六萬一千六百二十一圓なりしもの大正元年には三百六十一頭價額一萬二千百七十五頭に減じたるも大正二年には三百七十八頭價額一萬五千六百八十四圓となり大正三年に入りて幾部分を恢復しては一千百九十六頭價額四萬七千二百二十四圓を示せり

○當選確定期　役員詮衡問題如何

京城商業會議所議員評議員選擧は既報の如く十五日を以て終了したるを以て當選者に對しては直ちに選擧委員長より當選通知狀を發送したるが評議員たるの資格は選擧後三日間即ち來る十八日を以て決定す可きものにして直ちに第一回の總會を開會し正副會頭及び其他役員の選擧を行ふ筈なり會頭には原田氏無論當選す可きも副會頭には西村、岡、釘本、關の四候補者あり今之れを逆睹し難し

○棉花栽培と將來の方針　大正六年に於ける豫定成績

朝鮮に於ける現在棉作反別は在來棉陸地棉を合し約六萬一千五百餘町歩にして陸地棉は奬勵の結果、其作付反別年々豫期の如く增加し本年に於ては既に三萬四百餘町歩の多きに達せるを以て當局に於ては此機に於て極力之が普及奬勵を圖るに遺憾なきを期しつゝあり、殊に大正六年を期し陸地棉及び在來棉の作付反別を推定せるに、陸地棉作付反別は十萬一千七百七十一町歩にして在來棉作付は反別二萬二千三百二十一町歩、合計十二萬四千九十二町歩なり、而して此作付反別より生産し得べき

▲實棉の價格　は約一千百四十二萬七千百二十七圓にして之を繰綿となすときは約一千五百二十九萬餘を得可し、因に實棉數量は陸地棉は一反歩百斤、在來棉は一反歩七十斤の收量あるものとし其價額は陸地棉は一斤十錢、在來棉は一斤八錢とす、而して繰綿歩合は陸地棉三四%在來棉二四%とし繰綿百斤の價格は三十六圓とす、尚ほ種子の歩合は陸地棉は六二%、在來棉は七二%とし種子百斤の價額は三圓として計算せりといふ、今大正元年以後の陸地棉作付反別及び

▲實棉收獲高　の實數及び豫定額を示せば左の如し

年次	作付反別	實棉收穫高
大正元年	六、四四九町八反	七、三三〇、三三三斤
大正二年	一三、九七七、〇〇	一三、四四九、三六六
大正三年	二一、〇五四、〇〇	一七、〇四〇、四四一
大正四年	三〇、四一六、二〇	一七、〇〇一、五〇六見込
大正五年	六六、六八一、二〇見込	[illegible]
大正六年	一〇一、七七一、四〇見込	[illegible]

當局に於ては上述の推定を實現せしむるが爲め從來の方針を蹈襲し、勸業模範場木浦支場をして專ら棉花に關する試驗調査及び新規輸入の陸地棉種子の馴化に勉めしめ、全羅南北道、慶尚南北道、忠清南北道の六道の如き陸地棉の栽培に適せる温暖なる地方に於ては速に品種の改良を圖り、在來棉作地に陸地棉を作付せしむるは勿論、尚ほ陸地棉の新規作付を擴張することに力め、北方陸地棉に適せざる地方に於ては在來棉栽培の改良に意を注がしめ之に必須なる事項の實行に力め以て實績を擧げむことを期す

東京發別電

△對支態度決定　……各國公使に通告せん……通知したれば今明日中に英佛露伊の回答を徵せり其内容は極めて秘密に附せらるゝも相變らず不得要領の内……相は元氣稍々加はり倒れても首相代理を置かずと言ひ居れり

○日露石炭需給

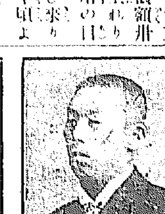
……來の慣例を破りて燃料に石炭を使用することゝなり其の供給を滿鐵に仰ぐ……國に注文せ……ける石炭需要に伴ひ長春驛構内の引込線を增設するの必要を生じ約一……驛を新設して北滿鐵道に於ける東清……滿鐵兩者間の關係親密の度を增し加ふるに滿鐵炭北滿賣込の擴張せら……

○仁川商議設立認可期

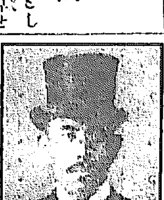
仁川商業會議所の新定款は本月中旬頃認可の豫定なりしも目下東上中……

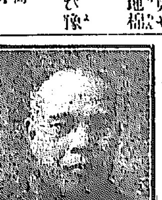
―京城商議評議員一級當選者―

朝鮮郵船株式會社　原田金之祐氏


佐野彥藏氏

廣江澤次郎氏


天日常次郎氏


釘本藤次郎氏

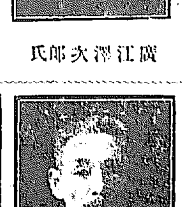
大日本麥酒株式會社　林茂八郎氏

株式會社第一銀行　西村道彥氏

京城電氣株式會社　岡正奕氏

唐川立造氏

關繁太郎氏


林田金次郎氏

高木德彌氏

株式會社漢城銀行　韓相龍氏

株式會社漢湖農工銀行　白完爀氏

株式會社朝鮮商業銀行　趙鎭泰氏

十五日京城商業會議所にて執行せし

當選御禮廣告

今回京城商業會議所評議員選擧に際し有權者各位の甚大なる御同情により當撰の光榮を辱ふし候段難有奉深謝候一々拜趨御禮申上可き筈の處御尊名伺洩も難計乍略儀紙上を以て御禮申上候

大正四年十二月十五日

（イロハ順）

石野熊一郎
池田長兵衛
河村千次郎
谷口小次郎
鍋島宇吉
增田三穗
藤田安之進
古城龜之助
小谷清
首藤定
篠崎半助
志岐信太郎

高尚で＝奇拔な
現代的趣味ある
組合せ文房具＝書翰箋の箱入
贈答品は＝北内に
■それは組合せ文房具でございますが其中に時節柄必要で便利な無料名刺印刷券を添へてあります
■受けられた方は何より重寶な家庭向學校用品　氣心地が好いものでございます
■名刺は年始に必要なものそれが無料で印刷が出來る之れが現代的北内式の榮を眼はり度候
帳簿製造
活版印刷
京城本町一丁目
北内紙文房具商店
電話一一五二番振替京城一五九番

可驚
世界的の大發明
一日二回何回使用でき
地方一手特約元賣所急募。見本三錢券八枚要。
大阪難波。殖産工場

御年暮
御年玉用
新荷物着と
年の餅勉強
東京名代田丸屋特製
一福々豆　罐入及斤賣
一海苔小巻　同
一あげかき餅　同
例年の通り年の餅大勉強
餅專門家
本町一丁目　電話四八九
大和軒

…[illegible]…協商中なりしが十三日對支聲明意見纏まりしより同夜我が政府は日置公使に訓電し其旨十四日陸外交總長に…[illegible]…

▲支那回答來る 十三日夜陸駐日公使は帝政問題に付き我政府に…[illegible]…の轉免あるべし

▲大隈首相の元氣 大隈首…[illegible]…下院の大勢は…[illegible]…警戒する所あり結束を固うしたれば下院の大勢は動かし難くなれり

…[illegible]…し北滿は…[illegible]…すべく計畫を立て東…[illegible]…迄と種々交涉を開始する處あり近く同鐵道は從…[illegible]…依賴したるを以て滿鐵は目下之が…[illegible]…を開始しつゝあるが是等北滿に於…[illegible]…んと企圖しつゝあれば近く同鐵道も竣工すべく其結果同驛構內用地は已に狹隘を告ぐるの模樣にして今後東…[illegible]…ふべし（奉天）

（…[illegible]…間工事中）海平大郎間、咸南城津間、美江…[illegible]…原春川間、淸凉里春川間、春川忠州間…[illegible]…

…[illegible]…日露兩國間に於ける…[illegible]…至るべく…[illegible]…來春早々十三日頃より…[illegible]…閲覽のみ本年内に終了し…[illegible]…

野田大塊翁東拓の一票を投ず—十五日午後三時

●隊員、半、凍傷に斃る

鐵道測量班卅日間の難行苦行（其二）

名も勇ましい赴戰嶺は新興郡にあつて線路は此嶺を越える爲めには海拔四千九百尺の高地を通過し五十六箇の隧道を設ける其最長のものは延長三十六チエーンにも達する此赴戰嶺附近は咸惠間中最も四邊の風物を異にした處で咸地院と云ふ小

■部落が殆んど山上

近くにあるが此附近の住民は丸太を井桁に組み其れを積み上げた丈けのいとも不思議な箱の樣な家に住み普通朝鮮人の住居たる溫突など見ようとしても見られない四邊には樹木が蓊欝として生ひ茂り最も茂つた處は徑二尺から三尺前後の落葉松が蓋々として七八十尺の高さに聳え連つてゐる其れが四里四方位何處に行つても同じ樣な狀態であるから從つて測量隊はまるで闇中を行く樣な有樣で其困難は名狀し難い程であつた曾て豆滿江上流

■茂山の奥三里許り

の處に可成りの大森林を見た事があるが相比較するに到底此赴戰嶺の大森林には及びもつかない太古以來未だ一回の斧鉞を知らぬ處女林とは全く此事であらうが、大黑柱、帆船の檣木などは恐かな事誠に見た事もない程美事な巨材が到る處にあたら倒れては腐り倒れては腐りしてゐるのには實に驚いてしまつた附近には到る處熊の足跡があつたり狼の糞があつたりして現業員をして

■思はず慄然たらし

めた咸地院から八十分一の緩勾配で西於水迄下り其れから又上つて四十分一の急勾配と九チエーンの小曲線を爲して雪降嶺に掛るのだが那から言へば新興から長津を經て右に折れ甲山に向ふ處長津豐山兩郡界に位置してゐる線路は海拔五千八百尺の高さを越えるのである四十分一の急勾配で蜿々登攀した線路は又此雪降嶺から四十分一の急勾配で下るのだ此赴戰雪降兩嶺此こそは測量隊の最も難澁した處で附近は元より

■山間僻地の事とて

田畑は愚か道らしい道さへもなく漸く部落を見付けて食を求めても燕麥と馬鈴薯が唯住民の常食なのだから其れより外に手に入れ樣が無い譯だ咸興を出る時豫め其用意の爲めに二石八斗餘りの米を買込んで行つたのが切れてしまつて赴戰雪降兩嶺間の三十日餘りと云ふもの唯豚と馬鈴薯許りで生活した途中非常な大寒に遭つた其れは三水郡下面里と云ふ處

■華氏十四度と云ふ

寒さなのだから一行十五名の內六名迄凍傷に罹り到頭一名は途中に置いて行を續けた馬隊激い處だから仲々壯大雄麗な景色の處もある甲山から惠山鎭に向ふ途中に咸南郡馬溪と云ふ處がある之は咸興憲兵隊長隈部大佐が命名した處だと云ふが今の吾々一行が大寒に遭つた三水郡下面里附近にある鴨綠江の支流たる虛川江の流れに沿ひ屹立數百尺の臨岩は將に

■耶馬溪の眺に彷彿

としてゐる吾々にはよくも分らないのだけれど此地方の產物としては先づ木材を唯一とし他にも多少の鑛物があるらしい甲山憲兵分隊長の話に據れば吉州一四五里の處に銅店嶺と云ふ山があり其麓に銅店里と云ふ部落があるが其處からは銅鑛が出る歐州戰爭前迄はコールブラン氏が雲山金鑛からの出資に依て經營してゐたと云ふ事であるが今は作業休止してゐる然し此際附近は林產さへも充分に

■屹度鑛產の調査は

手を著けてないのだから更に調査されてゐないのではないかと思はれた兎に角此附近は予が踏査した十三道中での最險最難朝鮮中での最未開地であると思ふ（完）

●訂正● 前回記載の朝鮮鐵道局線路踏査の箇所乃至其順序に多少誤謬があるから左の如し …[illegible]…城、咸興間（內元山文川間既設）文川永興…[illegible]…

●お次ぎは役員選擧

戰の後—死んだ兒の齡—何れも御機嫌

すつたもんだのと騒いだつて『時』の力程恐ろしいものはない、十五日午前九時から行はれた評議員選擧も午後四時會議所の

■大時計がチン と鳴ると玆に全く一二級共千秋樂を告ぐることとなつた今の今迄まさかと思ひ大丈夫と自惚れて希望の分水嶺に立つて居た者も開けて悔しき玉手

■函ならぬ投票函の中から

は喜びの人悲しみの人と當落が決定した、最初は二級が混戰だと云ひ終りには一級が闇打だと傳へられたが當日となると

■二級も一級も 相呼應して

茶を入れる者があつて少なからず候補者を面喰はした、就中お人柄にも似合はない志岐信太郎君が一級

■一級二股懸けの候補者に

立つたのは兩級の候補者が恨？の焦點となつた、併し肝腎の御本人は東京にござるのだから恨つらみも云はれやしない、二級では古城君が最高點だと噂されて居ると河村君が最高點で出た矢張りフロックの御陰だらう、一番氣の毒なのは橫田君で橫鎗を入れた志岐君と同點數であつたが惜しいかな御年の若い爲に落選それが開票

■間際迄當選と 信じて居ただけに皆んな同情せぬ者はなかつた好漢惜むべし兵法を過てり、一級の方に西村君と岡君と云ふ大敵の出たことは實に思ひがけぬことで誰云ひ合さねど油斷すナ拔るナとやつたけれど、開票の結果は一票が高木、梶原、進の三君で高木君年長者の故を以て當選し梶原、進の二君が落選したのは氣の毒である、兩君は會議所とは多年の關係を有する許りか多年

■商工業の發展に盡す所

があつた人であるが兩君を議員中に失つたのは孰れ人共に惜しむ所であらう、扨其の

■年齡調べの時 に六十歲以上の者を原、岡の兩君と擧げたが今度更に岡君を加へた、何んと云つても一番お若いのは廣江君の三十一歲然かもそれが最高點、御本人の滿足は左ることであらう、次で起る問題は役員選擧だが此處暫くお預りと致さう、當選の人が嬉しい程落選の人の心情も御同情に耐へぬが兎角此世は笑ふて暮せ笑ふ門には福來る—

得票勘定—十五日午後二時所見

●六百名の遺骨發見

奉天の本願寺の阿彌陀佛裏より

今回奉天十間房西本願寺本堂阿彌陀佛裏より日露戰役に於ける戰病死將校下士卒六百名の遺骨を發見せり右遺骨は同寺にて戰役當時總司令部より保管を委託されたるものが同寺の主任屢々更代せる爲め其儘今日に至りたるものの如く現主任神田明教師は直ちに軍隊に交涉し同地の忠魂碑に合祀す可き手續中なりと（奉天）

●指環で質屋を荒し廻る

長崎市平戶町生れ京城旭町居松本安治(三〇)は硝子製玉入十八金指環又は古金指環をダイヤ入の金指環なりと稱し十一月二十八日本町二丁目中村質屋に渡邊宇太郎と僞名して前記指環を金七圓に入質し同月卅日には旭町一丁目白川質屋に石川一雄と僞名して指環を五圓に入質し十二月二日には石橋質屋へ野口新吉と僞名し同月四日には前記中村方へ龍山彌生町料理屋一樂の仲居木末女を使はし七圓に入質せしめ翌五日には中村方へ渡邊宇太郎と僞名し指環を金十二圓に入質し其他同樣の手段にて入質せんとさせるも目的を遂げざりしが右の指環は特に硝子屋に買求め之を金指環に作製せしめ以て質屋を荒し廻り騙金しゐたることを本町署の警官に看破せられて取押へられたり

——（十五日午後四時）——

玉手箱の蓋を開けたところ

●元山地方酷寒

元山地方は十五日以來氣溫俄かに降下し寒氣强く河川は悉く結氷せり（元山特電）

●大熊七名を喰ひ五名を傷く

天鹽國苫前郡苫前村字サンケ別に大熊現れ去る十日二名の住民喰殺され十一日夜も亦五名喰殺され五名負傷し大恐慌を來せり（札幌特電）

●新義州民團事件の新事實

一時社會の耳目を聳動せし新義州居留民團事件にて永登浦監獄に服役中なりし市川信滿及び平壤監獄にて服役中なりし渡邊豐太、川端三郎の三名は突然密かに新義州に護送され目下檢事の取調べを受けつゝありその內容は判明せざれども今回更に或新事實發見されたるものにて財產隱匿その他の事件に關聯するもの、如く新義州に於て新に嫌疑者五名收監されたりと（安東縣）

●拳銃を持てる覆面の兇漢

琴湖江畔に野宿の親子を襲ふ

熊本縣人勝木仁太郎(四三)は長男の寶藏(一七)を伴れ慶尙北道永川郡琴湖面冷泉洞の加藤末五郎を尋ね渡鮮し十一日午後慶山驛より徒步にて加藤方を探し居る間土地不案內の爲め加藤方を二十餘丁も行き過ぎたる琴湖江畔にて日暮れ進退谷り親子互に抱き合ひ風寒き川岸に野宿せしが午前三時頃突然何者か現れ寶藏の胸を撫でたるより寶藏は驚き眼を覺したるに物も言はせず發砲し寶藏に左眉毛左顎、左頰の三箇所に銃創を負はせたるにぞ父親仁太郎はその跡を追つかけ格鬪したるも力及ばず何れにか取り逃したるが黑衣を著したる大男にて內鮮人何れとも判明せずと寶藏は警官、公醫出張應急手當を施し大邱慈惠醫院に入院せしめたるが創部は散彈貫通し居りて二週間を經ば全快す可しと（大邱）

●苛性曹達自殺

京城杏村洞五十三番地草履製造職匠宗植(三二)は十四日午後一時三十分頃自宅溫突內にて苛性曹達を服用し自殺を企てたるを早くも家人が發見し直ちに手當を加へし爲め絕命するに至らず届出に依り鍾路署より警官醫師出張檢視をなし一先づ家人に引渡したり原因生活難の爲め常に夫婦喧嘩をなし妻の李姓女より男として罵られたるを苦にしたる結果なりと稍重態にて目下加療中

●井戶に投身す

京城西大門町一丁目古物商韓應淳方雇人李炯圭の妻金姓女(二〇)は十四日夜庭內の井戶に投身したるも家人に發見せられ巡回中の鍾路警官と共に救助したる爲生命に異狀なし夫炯圭は十九年間同處に奉公したるも昨今同家の子供等成長し不用となり前記夫婦はお拂箱となり金姓女は實家なる義州通二丁目金今潤方に同居中實家不和の結果右の所爲に出でたるものなり

●盛花の流行

上流婦人のお稽古

京城にも近來婦人方の盛花が盛んになつたやうである、盛花は例の洋食料理の食卓に出される洋風のものを持ち來つてわが國の生花の流儀を加味したもの、從來洋風の盛花は只漠然多くの花を挿し込むだのみのやうであるが近頃の和洋折衷の盛花は至極無造作で誰れにでも直ぐ出來るやうに思へるが矢張り陽花陰花天地人など稱して一定の法式を有つた雅致ある活け方を試みるやうである、盛花の道具としては第一平たい鉢と金の留め具であるが留め具は金の蛇籠のやうなものを用ゐ又池の行にたぞらへて岩や砂礫をも用ゐるのである、而して又鉢は雅致ある竹籠などに盛るのも趣味あるものであるが洋風のと異ひわが國のは梅や椿柳などのやうなものまでも一切雅致ある生け方を試み得られるのである、頃日の時候では蕪の葉、寒菊なども面白いが殊に洋風の應接間などには盛花の鉢がよく調和するやうである、京城にも明治町邊に盛花の師匠が出來て近來なかく盛んな流行だ相な

懸賞募集新年文藝

課題 ▲和歌『寄國祝』 ▲短歌 新春 ▲俳句『門松』 ▲川柳『かるた』 ▲一人一句吟 ▲俗謠『松の內』 ▲『ものは付け』『目出度ものは』 ▲一口噺 新年に因めるもの

〆切 十二月二十日 用紙 端書又は同型の用紙 注意 各種別に別用紙に認むること、表面に『京城日報社編輯局內懸賞新年文藝係』と朱書のこと、

●潜伏中御用

仁川牛角里金聖玉方金相鳳(三十)は去る二日仁川寺町井上健次方に忍び入り金手入りの金箱一箇と銀側懷中時計一個を窃取し仁川新町燒栗業除萬應方に潜伏し知らぬ顏の半兵衞を極め込み居る處を仁川署の刑事に發見逮捕せらる

●仁川瓢館開館

部內修繕の爲め一時閉館中なりし活動寫眞常設館仁川瓢館は愈々來る十七日より花々しく開館する由寫眞は『…[illegible]…』『…[illegible]…』等なりと

●訂正

前號郵便爲替貯金取扱時間延期の記事中午後『九時』迄とあるは午後『五時』迄の誤に付き訂正す

警視廳 內務省東京衞生試驗所 東京市衞生試驗所 大阪市衞生試驗所 內務省大阪衞生試驗所 農商務省工業試驗所 試驗濟 免許

赤毛染（あかげそめ）

安全コクオーは……從來のしらが染の如くまけたり、かぶれたりする氣遣は少しもありません ホントニ安心して染られます

安全コクオー

安全コクオーで……染た毛は永く褪けません 故に二回目からは生際だけを染ればよろしい ホントニ德用な白髮染です

赤毛染（あかげそめ）

專賣 大阪堂島 高橋盛大堂藥局 同心齋橋 高橋盛大堂分店

京日案內

●普通 一回前金六十錢（五行） 一行增毎に金五錢增

●番外 一回前金…[illegible]… 一行增毎に…[illegible]…

●貸家 日本建溫突付三室平和園附 官吏向漢江公園南裏 管理者 壽龍山印刷局先畑中 79

●小使 但し齡十六より十八迄で普通教育有る男子一名（上有信用保證人要す希望者即時來談あれ）龍山漢江通拾參番地龍山長電一五二番 松本組 160

▲パン 品質の優越せると目方の豐富なるは太平通二丁目 相川パン屋に限る 電話は一一八九番へ御掛下さい 47

●年の餅 例年の通ちん賃搗も致します 出搗內搗 元祖桃太郎饅頭 京城北米倉町 本店 明治町通 支店所在 米倉軒 166

▲年の餅●賃搗 出搗內搗の求に應ず 京城旭町一丁目 電話二二八一番 一六軒 165

●贈答品 吟味のよい 玄武燒菓 ●切手を發行いたす 市內遞送 京城旭町一丁目 電取次一五七二 元祖 玄武堂 165

開始 ●人夫請負引越荷物其他 人力車帳場 京城永樂町二 電話二六八九 岡本組 164

公證人 京城永樂町二丁目十七番地 山邊勇輔 電話二八四 64

內科 小兒科 專門 胃腸 呼吸器 京城本町二丁目（入院隨意） 山田醫院 電話二八○番 81

花柳病 皮膚病 專門 永樂町一丁目商品陳列館坂の上 須古醫院 電話二○三番 90

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入る 電話二二八三番 國江商會 104

●質 ●弊店の特色は秘密を嚴守し完全なる倉庫の設備有り從前より一層勉強懇切に取扱申候 支那領事館前 電話一○九六番 南質店 118

質 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所 電話六三五番 135

開始 ●弊葬儀舍は葬具全部新調し懇切迅速御便利に且葬具料極低廉に御相談仕候 若草町七○ 電取次二七二六 一葬儀舍 136

結核 痔疾 古賀液注射（入院隨意） 京城南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 143

西川 新案 堅牢椅子 洋家具業 松田 南米倉町百六十四番 黃金町二長橋通角 電話三三三九 154

產婆 塙富美 電話二五一四 119

▲精肉賣出 本町三丁目 若草町入口 松居精肉店 156

千生瓢 (71)

須藤南翠作　筒井年峰畫

驕將（十）

本陣の居室に在りながらも、小具足に身を固めて、片膝を脇卓に凭せ軍書に眼を曝してゐる柴田修理亮勝家は、軍旅の勞に數を殖す白髯を捻つて、斜に近習を覗た。

「大岩山へ遣はした使者、まだ還り居らぬか」

「仰せ、未だ歸陣仕りませぬ」

「賤りの眼いは心許ない。玄蕃がいつもの我意を募りはせぬかな。追かけて今一人、然べき侍大將でも遣はされば、所詮素直に言ふ事を肯き居るまい」

勝家は覺束なげな眼つきで、瞰しく心當の空を眺めて居たが、使者の復命の後れるのが殆ど堪へられぬまでに、懸念になつて來た。

「其方急ぎ後陣に參つて、毛受久左衛門を召し連れ來い」

「ハッ。別に御口上はおざりませぬか」

「成るだけ脚強き駿足に乘つて參れと、儼と申し付けい」

「畏まりました」

近習は此處を退つて、急いで後陣へ赴いた。其姿の隱るゝのを見送つて勝家はまた軍書の上に目を落したが、少時すると巻を伏せて、深く歎息する體であつた。

間もなく近習は立ち歸つて、

「毛受久左衛門殿、御同道申しておざりまする」

「おゝ、待ち兼ねた。疾う此れへと申せ」

其處へ毛受久左衛門出頭して、慇懃に辭儀するのを勝家は焦燥しさうに待つてゐたが。

「久左か、能う早速に參つた。近う進め」

「ハッ。殿御健勝、軍中一同恐悅此事にござりまする」

「健康か、不健康か、一期の大事が出來致いたよ」

「一期の大事、それ何事にござりまする」と、久左衛門は驚きの目を見張つた。

勝家は脇卓を前に廻して、それに双の腕を靠せた。

『玄蕃めが血氣に逸つて、此方の申付けを守らぬぢや』

『いかさま、申し後れておざりまする。玄蕃允樣御勝利、大岩山落城、中川瀨兵衛尉討死、岩崎は戰はずして開城致いたげ。恐悅至極に存じ奉りまする』

久左衛門は改めて勝軍の祝詞を述べたが、勝家はそれを悅ぶ色も見せなかつた。

『陣所〳〵を嚴しく抑へて、大軍を以て離れ城を攻むる上は、勝利は初めから知れた事ぢや。首尾よく落城するに於ては、火を放けて燒き拂ひ速かに人員を纏めて引入れよと、堅く申し渡いたぢや』

『恐れながら御老巧の御軍法、若輩者の及ばぬ所と存じまする』

『久左は智者ぢやよ、此方が胸中能う合點致いた』

『なか〳〵、合點とては仕りませぬが、大岩一箇所打破つて、其まゝ靜に引入られたとあつては、智者と稱ばるゝ筑前守殿、味方の智略を測り兼ねて、進軍を控へらるゝは定の流石は敵を知つて機先を制す御軍略御老巧と感じまいた次第おざりまする』

『其まで察するは天晴明智ぢや。殘念ながら玄蕃めの愚鈍、岩崎の高山が、兵威に恐れて開城致いたに、驕慢の我執增長して、賤ケ嶽へ仕かけようとぢや。賤ケ嶽はよし破らうとも、味方の兵は戰ひ勞れて、城の守りも覺束ない。其時筑前守取つて返さば、勝敗忽ち地を換へて、遂には味方總敗軍とならうも知れぬわ。久左、此方一期の大事と申したは、即ち此ぢやよ、のう』

勝家は常の剛氣に似ず、深く之を憂ふるのであつた。其處へ執次の近習が來て、

『申し上ます。前田孫四郎殿、病氣本復に付き、先陣に歸參、佐久間殿御手に通らるゝ旨、屆け出でられておざりまする』

『孫四郎、先陣に通つたか。ハテ事面倒に相成つたわ』と、勝家は拳に顔を支へさせた。

新刊紹介

▲西洋音學講話（小林理學士著）通俗的に西洋音樂の智識を與へんとしたもので音樂の要素から始め歐洲各國の俗樂を比較し其發達の狀勢より歌劇及樂劇に及び尚進んで研究する人の爲めに參考書を列擧として添へてある說明的圖數一葉、卷頭に附圖を掲ぐ（四六版四二二頁定價一圓三十錢東京市神田區南神保町一六岩波書店）

▲朝鮮彙報（十二月號）京城に於ける京畿道賜饌場、京畿道に於ける養老杯賜酒肴料授與式、果實及蔬菜（共進會出品）の口繪を卷頭に掲げ、總說に靜じ反省を促す（久次米秩總督府[illegible]支場長）、[illegible]研究第一回[illegible]・森安博士の外行政、産業、交通、土木、學術、司法及警察、研究資料、外國事情、地方通信、朝報、統計等の各欄一讀すべし（定價廿五錢朝鮮總督府）

▲農業（一の三）　定價金七錢大阪市東區味原町一〇二農業社

▲飛行少年（新年號）新號賜台臨丈けあつて上品な雜誌に新裝して卷頭には勇壯な劍戰の圖があり傳奇小說快艦紀局の[illegible]篇を初め小說數編、井上中將の曠古の盛典を拜觀す、外痛快な談話數編、新正少年の好讀物（定價金十五錢東京市京橋區日吉町八日本飛行研究會）

▲日本幼年（正月號）ミナサマガオシヨウガツニゴランニナルノニモツテコイノキレイナカワイザツシデスヨウチンイロハカルタガフロクニツイテヰマス（定價金十錢東京市京橋區日吉町一東京社）

正誤　昨十二月十五日發行京城日報朝刊第一面廣告欄堀内商會小杉謹八廣告中㊇堀内商會とあるは㊇堀内商會の誤植に付茲に訂正す

新酒賣出し

一升 金拾八錢（新酒）
古酒 一升 金參拾錢

各驛迄の運賃當店にて負擔可仕候
但樽代一斗入六十錢。二斗入及四斗五升入は一圓申受候

大邱北旭町　齋藤酒店　電話三四九番　振替八二六番

たんをきりせきをしづめ　龍角散　ぜんそくに特効あり

今です！

たんとせきぜんそくの流行期は。凡ての人が警戒すべき氣候激變の時は。今です!!

この時期には極めて強壯な人でも風邪を引きがちですが夫が○○○○たんせきとなりせんそくとなると決して油斷はなりません、

油斷は大敵

わけてたんせきせんそくは最も緊要な呼吸器を侵し遂には肺炎、肋膜炎等に移症し易いから豫症の内に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が

最も肝要です

又數年の難症に惱む人も怠らず服用あらば氣分が爽快となり病惱は日々に薄らぎ終に全治するに至る

登錄商標

主治効能

△たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
△ぜんそくにてゼイゼイいき切する人
△せき頻に出で夜半オチオチ眠り兼ぬ人
△流行感冒より起るたんせきの人
△肺病にて常に力なきせきの出る人
△たん臭氣を帶び時々血の交る人
△小兒百日せき又はしかせきの人
△音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに頗る卓効あり又常々音聲を使用する人用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

	定價	郵送料
二日分	十錢	二錢
四日分	二十錢	二錢
一週分	三十錢	二錢
二週分	五十錢	二錢
一月分	一圓	四錢

取次　全國各藥店にあり▲賣切の節は本舖へ御注文を乞ふ

本舖 製劑師　東京神田區豐島町　藤井得三郎　電話浪花一四二四　振替口座東京九一

新刊書御案内

書名	著者	價
家庭日本歴史	海[illegible]杖	一、三〇
西遊スケッチ	和田垣[illegible]	一、二〇
銀と爺	日向きむ	一、八五
社會的近代文藝	馬場孤蝶	一、三五
文學の本質	[illegible]	一、二〇
日和下駄	永井荷風	一、〇〇
未だ見ぬ親	五來素川	一、〇〇
哲學より宗教へ	[illegible]	一、五〇
心の修練	大内青巒	一、〇〇
諸子神髓	[illegible]道人	一、五〇
貯金の秘訣	安田操一	一、九〇
獨りうらない		二〇
歌留多の研究	石井[illegible]	一、六〇
英語獨習新書	村井[illegible]	一、四〇
中等新英和獨習	[illegible]	一、六〇
最新球算自修書	石上錄之助	一、五五
日本農村論	横田英夫	一、九五
現行契約書式大全	[illegible]	一、九〇
軍國主義	[illegible]	一、〇〇
戰時經濟講話	上田貞次郎	一、八五
最新簡易製鐵術	向井哲吉	一、三〇
土木工學	川口外[illegible]名	一、二五
波動振動及避雷	[illegible]秀太郎	四、五〇

滿蒙處分論　露國クロパトキン將軍原著　定價金一圓　郵稅不社負擔　京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

新年用 名刺及はがき

明治町二丁目（敎會堂通）長崎名物屋

生殖器病救濟

早漏遺精 陰萎 勃起衰弱 發育不全 短小 包莖の人の爲自宅で確實に治る眞空療法說明書を送すハガキで申込あれ

東京神田今川橋　眞空療法研究所

十二月は 特に 仁丹離されぬ

活動と仁丹　歳暮と仁丹

■劇務の時　■煤掃の時　■餅搗の時
■勉強の時　■外出の時　■旅行の時

仁丹を欠さず御活用遊ばせ

消化と毒けし　仁丹

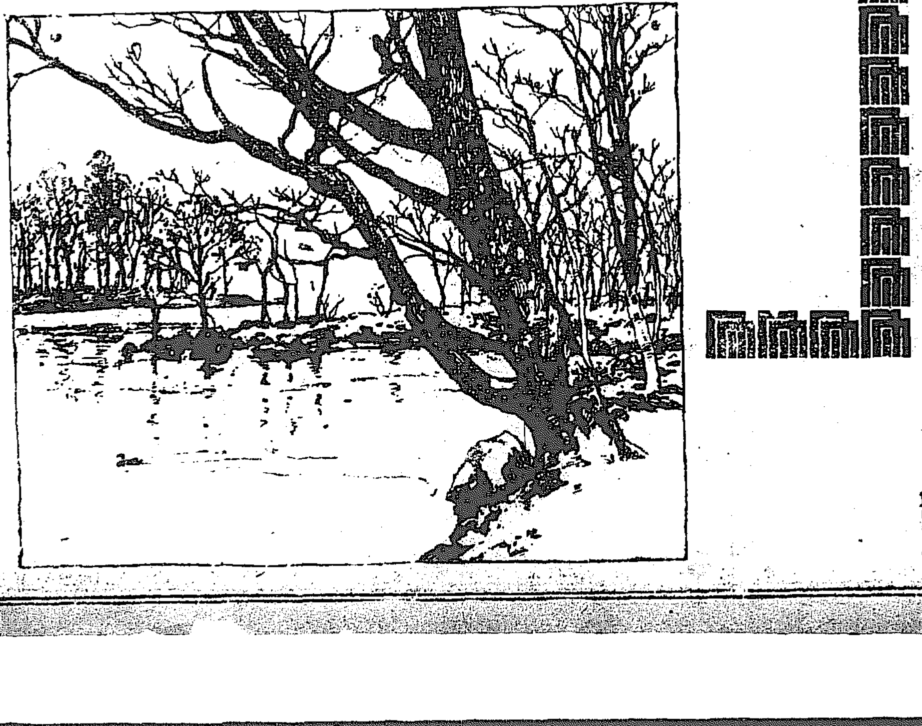
藥價　仁丹　■廿五錢　■五拾錢　■壹圓

金言
富を致すの難所は、當初一萬圓を積む迄に在り（アスター）

御園白粉

雪の如く白く
雪の如く清く

常少女の美しさを保つ爲には何より第一御園白粉の專用を怠る可からず。
御園白粉は學理と實驗とに基きて製造せる實質本位の白粉也



製造本舖　伊東胡蝶園
發賣元　丸見屋商店

（38）

商況

大阪三品
三月限　一二四、四〇　一二四、五〇
四月限　一二五、〇〇　一二五、七〇
五月限　一二六、五〇　一二六、四〇

大阪株式特電

大阪期米特電（十五日）

▲後場の商戰

▲米穀資金需給狀況

[illegible]